

令和4年度(2022年度)

事業報告書



社会福祉法人 平塚市社会福祉協議会

目 次

◎令和4年度 事業運営における重点目標の結果	1
【事業区分：社会福祉事業】	
I 法人本部拠点区分	4
1 法人拠点事業	
II 老人福祉センター拠点区分	11
1 老人福祉センター事業	
III 福社会館拠点区分	12
1 小地域福祉活動支援事業	12
2 ボランティアセンター事業	17
3 援護事業	24
IV 平塚栗原ホーム介護拠点区分	27
1 日常生活自立支援事業	27
2 介護に関する入門的研修事業	28
3 特定相談支援事業	28
4 生活介護事業	29
V 豊田分庁舎拠点区分	31
1 地域子育て支援拠点事業	31
2 子育て援助活動支援事業	32
VI くらしサポート拠点区分	33
1 生活支援事業	33
2 貸付事業	34
3 生活困窮者自立相談支援事業	36
【事業区分：公益事業】	
I 福社会館拠点区分	38
1 介護者支援事業	
II 平塚栗原ホーム拠点区分	38
1 法人後見事業	39
2 居宅介護支援事業	40
3 地域包括支援センター事業	40
4 成年後見制度利用支援事業	43
5 高齢者権利擁護応急の事務管理事業	45
6 在宅医療・介護連携推進事業	46
7 システム会議運営事業	48
【事業区分：収益事業】	
I 福社会館指定管理拠点区分	50
1 福社会館運営事業	
II 平塚栗原ホーム指定管理拠点区分	53
1 平塚栗原ホーム運営事業	
◎別表1 社会福祉基金事業一覧表	54
別表2 年末たすけあい配分事業一覧表	56

◎令和4年度事業運営における重点目標の結果

1. 相談支援体制の強化

平塚市社会福祉協議会（市社協）には、福祉領域に留まらない地域生活課題全般に対応できる総合相談体制が求められています。医療や法律分野等とのネットワークを生かし、体制の強化を目指します。

市社協内部で相談に従事する職員のスキル向上、部署間での情報共有等連携を密にし、どこの部署においてもいかなる相談にも乗ることに取り組み、相談者に必要な支援に繋げることに努めます。

【重点目標の結果】

相談支援体制の強化のため、相談部門の担当者を中心に相談業務連絡会を継続的に開催しました。連絡会の中で各部門の課題や事例を共有し、市社協内の連携の強化を図りました。

高齢者よろず相談センターゆりのきに入ってくる個別の困難ケースについて市社協内の各相談機関の担当者で集まり、本人にとって最も良いと思われる支援方法をケース検討しました。

個々の相談機能強化としては、成年後見制度の利用による課題解決を目指すケース検討調整会議を実施しました。

2. コミュニティソーシャルワーカーの活動推進

地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、地域で抱えている福祉サービスだけでは対応できない生活課題等の抽出を行い、インフォーマルサービス等を活用しながら、地域の中で課題解決ができるよう、コミュニティソーシャルワーカーの活動を活発にしていきます。

【重点目標の結果】

コミュニティソーシャルワーカー活動として年間92件のケースに対応しました。他の地域包括支援センターや地区団体等にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の存在が認知され、徐々に相談件数が増えています。地域で埋もれがちなケースや支援を拒むケースに対して関係機関と連携しながら地域社会に繋がられるよう努めました。

3. 企業等への貢献活動の参加促進

企業等で取り組まれる寄附やボランティア活動などの貢献活動についても新型コロナウイルスの影響を受けています。感染状況を見ながら企業等の特性を住民課題の解決や地域福祉活動に結び付け、地域社会への貢献促進につながるよう努めます。

企業等の賛助会員への加入促進や福祉学習の機会を提供します。

【重点目標の結果】

企業等の貢献活動の場として、引き続き企業賛助会員（会費）の募集を行いました。

企業等から感染症対策用品や防災グッズ等の寄付による災害備蓄品の積み増しができました。また、市内企業として災害ボランティアに登録していただき、従業員が災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加されました。

4. 終活についての普及啓発

限りある時間を自分らしく有意義に過ごすために、終末期に向けた住民の意識を高めるための普及啓発を行います。市社協では、成年後見利用支援センター、在宅医療・介護連携支援センター、高齢者よろず相談センターゆりのき等終末期に関わる事業を行っています。今後更に各部署の情報を共有し、一体的に終末期に向けた活動支援に取り組みます。

【重点目標の結果】

終末期支援に向け部署横断的に活動支援事業検討会や多職種連携勉強会を実施し、医療・介護職のスキルアップを図りました。

平塚市版エンディングノート「わたしのノート」に合わせて、在宅医療・介護連携支援センター、成年後見利用支援センター、高齢者よろず相談センターゆりのきが連携し、自身の終活に対して考える講座を実施しました。福祉会館等では、市民対象の相続遺言等の講座や行政書士による終活講座も開催しました。

5. 災害時支援体制の強化

平塚市が地震や風水害などで被災地となった場合に備え、災害時ボランティアネットワークセンター設置運営訓練をはじめ、災害備蓄品の確保、関係機関との連携を強化しています。

災害ボランティア活動への関心を深め、住民相互の共助など安心安全な地域社会づくりを目指します。

【重点目標の結果】

行政、青年会議所、その他関係機関の協力のもと災害ボランティアセンター（年度内に名称変更）の設置運営訓練を実施しました。ボランティアの受入工程の訓練のため、災害ボランティアの参加と登録を進めました。

引き続き社会福祉基金の財源を活用して災害備蓄品の整備を行い、想定している備品の確保が完了しました。また地区社協と災害ボランティアセンターとの連携について検討を進めました。

6. 自発的な事業展開

市社協として行っている事業について、自発的な事業展開に努めます。受託事業についても受け身にならず、市社協に任された意義を十分理解し、積極的に取り組み発展させていきます。

職員一人ひとりが地域福祉を推進する組織の一員としての自覚を持ち、新しい発

想や柔軟な対応を意識し、住民からの信頼を得て社協ブランドを向上するよう努めます。

【重点目標の結果】

制度のはざま等で行政サービスでは対応しにくいニーズに基づいて様々な講座を開催しました。視覚障がい者向けスマートフォン講座、中途失明者向け点字講座、収穫ボランティア養成講座、片づけボランティア養成講座、子ども食堂・学習支援講座などを開催しました。

事業区分：社会福祉事業

I. 法人本部拠点区分

1. 法人拠点事業

(1) 役員等会議

- ア. 正副会長会議（1回）
次年度の事業計画及び予算案を理事会に提出するための内容確認を行った。
開催日 3月7日(火)
- イ. 理事会（定数11人・4回）
法人運営に関する諸課題を議決した。
開催日 6月7日(火)、9月13日(火)、12月13日(火)、3月22日(水)
- ウ. 監事会（定数2人）
令和3年度を対象とした事業報告及び決算の監査を行った。
開催日 5月27日(金)
- エ. 定時評議員会（定数25人）
理事会から上程された令和3年度事業報告及び決算について審議し、原案どおり承認した。
開催日 6月16日(木)
- オ. 臨時評議員会（定数25人・3回）
理事会から上程された議案を審議した。
開催日 9月29日(木)、12月22日(木)、3月30日(木)
- カ. 評議員選任・解任委員会（定数5人・2回）
理事会推薦の評議員候補者について審議を行い選任した。
開催日 6月8日(水)、12月15日(木)
- キ. 役員研修
理事及び監事を対象とし、神奈川県社会福祉協議会市町村社協部会主催の会長・役員セミナー「包括的支援体制構築の動きの中での市町村社協の役割、事業・活動の方向性」に参加した。
開催日 11月29日(火)
参加者 理事6人（オンライン参加含む）

(2) 事務局運営

- ア. 会員と賛助会員
(ア) 会員と会費

会員区分		会員数	金額（円）
1号会員	地区社会福祉協議会	23	156,800
2号会員	自治会連絡協議会	1	5,000
3号会員	地区民生委員児童委員協議会	23	78,800
4号会員	保護司会	1	13,200
5号会員	社会福祉施設	147	416,000
	(法人)	(33)	(99,000)
	(施設)	(89)	(267,000)
	(地域作業所)	(25)	(50,000)
6号会員	当事者団体	13	39,000
7号会員	社会福祉活動団体	12	36,000
8号会員	社会福祉協力団体	2	6,000
9号会員	社会福祉に関する学識経験者	2	-
10号会員	社会福祉に関係ある行政機関	2	-
合 計		226 件	750,800 円

(イ) 賛助会員と賛助会費

23 地区(300 円未満の協力会員を含む)

賛助会員会費 58,539 件 17,668,131 円 平均 301 円

(うち、特別賛助会員会費 1 口 5,000 円 100 件 575,000 円)

(ウ) 企業賛助会員と企業賛助会費

企業賛助会員会費 (市内の企業、事業所等の会員)

1 口 5,000 円 53 社 74 口 370,000 円

イ. 研修事業

(ア) 社会福祉士相談援助実習受入れ 延べ173日間

- ・ 神奈川社会福祉専門学校 2 人 (9 日間)
- ・ 東海大学 2 人 (25 日間)
- ・ 相模女子大学 1 人 (25 日間)
- ・ 田園調布学園大学 1 人 (25 日間)
- ・ 大妻女子大学 1 人 (25 日間)
- ・ 日本福祉教育専門学校 1 人 (30 日間)

(イ) 市社協職員対象自主研修

- ・ 未実施

ウ. 後援・協賛事業

次の事業に、後援・協賛した。 21 件

	事業・行事	申請団体
1	道路内の植樹枡への花植え	神奈川県平塚土木事務所
2	クラシックコンサート “BJSV in Early Summer”	BJSV 美しい日本の歌と声
3	フォト四季写真展	フォト四季
4	講演会「40 歳を超えたひきこもり未満の女性たち」	こころの相談室つむぐ
5	福祉のしごと 地域就職相談会 in 平塚	神奈川県社会福祉協議会
6	第 25 回湘南平塚福祉芸能の祭典チャリティー公演	湘南平塚福祉芸能実行委員会
7	平塚市子どもの家自主事業「科学マジックショー」	平塚市青少年課
8	第 58 回ゆめクラブ湘南平塚福祉大会	平塚市老人クラブ連合会
9	神奈川脳外傷リハビリテーション講習会	神奈川脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会

10	第 50 回ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会	平塚市老人クラブ連合会
11	平塚市仏教会 湘南説法会	平塚市仏教会
12	第 69 回神奈川県社会福祉大会	神奈川県社会福祉協議会
13	クラシックコンサート “BJSV in Christmas 2022”	BJSV 美しい日本の歌と声
14	第 52 回ゆめクラブ湘南平塚趣味の作品展	平塚市老人クラブ連合会
15	ひきこもり勉強会「ひきこもる子どもの理解と関わり方について」	すばる
16	第 20 回神奈川県介護支援専門員研究大会	神奈川県介護支援専門員協会
17	令和 4 年度市民健康講座（平塚市医師会・神奈川県医師会共催）	平塚市医師会
18	第 19 回湘南ひらつかマジシャンズ発表会	湘南ひらつかマジシャンズ
19	平塚市社会福祉チャリティー新日本プロレス大会	株式会社 創
20	BJSV in Classic 2023 春	BJSV 美しい日本の歌と声
21	平塚市障がい者団体連合会結成 50 周年記念事業	平塚市障がい者団体連合会

エ. 事故発生報告 合 計 15 件

(ア) 利用者事故

- ・老人福祉センター利用者の体調不良による救急搬送 3 件
- ・福祉会館利用者館内転倒 1 件
- ・家族介護リフレッシュ事業講師転倒 1 件

(イ) 職員事故

- ・車両自損事故 1 件
- ・職員の交通違反 1 件
- ・事業用携帯電話の破損 1 件
- ・生活介護事業送迎中の車両物破損 2 件
- ・自転車人身事故 1 件
- ・通勤災害帰宅途上の怪我 1 件
- ・利用者宅訪問中にペットに噛まれ怪我 1 件

(ウ) トラブル

- ・賛助会費募集趣意書の印刷一部破損 1 件
- ・赤い羽根共同募金領収書の誤配送 1 件

オ. 苦情申し立て 0 件

カ. 情報公開 申請件数 0 件（公開 0 件）

(3) 広報宣伝事業

ア. 福祉だよりひらつか発行

市民に福祉に関する情報を発信。様々な福祉事業を紹介して地域福祉及びボランティア活動の推進、育成等を図る広報紙を 6 回発行した。（自治会回覧方式により各号の発行部数は 12,000 部）

発行月	第 143 号（5 月）	第 144 号（7 月）	第 145 号（9 月）
	第 146 号（11 月）	第 147 号（1 月）	第 148 号（3 月）

イ. 顕彰（敬称略）

(ア) 社会福祉功労者表彰

永年にわたる社会福祉への功績を称えるため、社会福祉関係功労者の表彰を行った。

開催日 11月19日(土) 場所 ひらしん平塚文化芸術ホール

a. 平塚市社会福祉協議会会長表彰(23人)

地区社会福祉協議会(20人)

・小宮 保 ・藤本 サト子 ・中村 真弓 ・福田 美苗子
・小谷 弘子 ・金子 千恵子 ・柏木 紀子 ・露木 知恵子
・土屋 美年子 ・新澤 スミ ・青木 政子 ・石井 勝子
・小玉 京子 ・石丸 久美子 ・関谷 恵 ・山崎 美紀
・根岸 ゆり子 ・原 直子 ・横尾 敏子 ・古田 達夫

民生委員・児童委員(1人)

・五十嵐 都

保護司(2人)

・岩田 耕平 ・原田 茂

b. 平塚市社会福祉協議会会長感謝(22人)

地区社会福祉協議会(10人)

・香取 伸治 ・福島 和明 ・青沼 護 ・上原 房子
・中島 孝子 ・斎藤 宏子 ・木津 政江 ・北條 ひとみ
・白須 昭雄 ・後藤 百合子

ボランティア(12人)

・池本 恵子 ・今出 文子 ・小橋 恵子 ・末次 順子
・竹内 とみ子 ・平田 稜子 ・中島 洋子 ・洞澤 健
・市川 直子 ・川上 紀子 ・磯崎 静子 ・篠崎 文枝

c. 平塚市長表彰(3人)

本会から推薦した次の方々が自立支援功労者として顕彰された。

・小林 初美 ・松本 光子 ・二見 アヤ子

(イ) 神奈川県社会福祉大会 11月9日(水) 県立音楽堂により次の方々が顕彰された。

a. 神奈川県知事表彰(2人)

ボランティア

・岩田 由紀枝 ・老田 光子

b. 神奈川県社会福祉協議会会長表彰(24人)

民間社会福祉事業所

・関口 智一 ・渡部 美代子 ・三野 圭介 ・福西 直美
・吉岡 弘美 ・後藤 奈津 ・長島 由美子 ・成松 由季
・安藤 健 ・藤間 あゆみ ・高橋 裕季 ・上條 佑佳
・赤木 亮 ・金利 千央 ・生川 久雄 ・庭野 史子
・堀尾 俊臣 ・高杉 芳久 ・横山 佳梨 ・田中 努
・梅干野 裕美

平塚市民生員児童委員協議会

・五十嵐 都

保護司

・岩田 耕平 ・鈴木 衣乃里

c. 神奈川県社会福祉協議会会長感謝(18人)

民間社会福祉事業所

・清水 豊 ・西宮 真澄 ・鴫 りょう子 ・坂下 まり子
・山口 毅 ・三本松 智子 ・飯塚 淳 ・栗原 伸泰

平塚市民生員児童委員協議会

・黒田 眞美江 ・笹尾 美知子 ・鈴野 トシ子

県立子ども自立生活支援センター

・池田 賢一

平塚市社会福祉協議会

・久保川 宏一 ・羽太 鎮雄 ・石井 美智恵 ・津久井 克紀

- ・能條 仁美 ・芦川 好宏
- d. 共同募金功労者表彰・感謝（10人）

神奈川県共同募金会会長表彰

- ・西條 豊 ・河間 裕治 ・蔭山 栄一 ・緑川 政雄
- ・林 恒夫 ・松田 眞一 ・小野田 美智子 ・加藤 茂
- ・小林 寛 ・石橋 政美

- (ウ) 全国社会福祉協議会会長表彰（2人）

神奈川県社会福祉協議会の推薦により次の本会職員が表彰された。

- ・安藤 綾英 ・光野 邦彦

- ウ. 障がい者週間に関する広報啓発

障がい者の日キャンペーンへの協力

平塚市障がい者団体連合会主催のキャンペーン活動の啓発展示のため物品の貸出協力をした。

(4)社会福祉展

市内社会福祉施設ならびに作品の紹介を行った。コロナ禍のため中央公民館ギャラリーでの開催を取りやめ、動画配信とした。

開催期間 11月28日(月)から公開中

出展施設 42施設

内訳：高齢者入居施設・デイサービスセンター6

障がい者施設13 保育園21 地域作業所2

再生回数 485回（当年度末時点）

内訳：会長挨拶55回、高齢者施設66回、障がい者施設85回、地域作業所70回、保育園209回

(5)委員会

各種委員会を次のとおり開催した。

- ア. 総合企画委員会（委員10人）

開催日 8月3日(水)、2月14日(火)

- イ. 総合企画委員会小委員会

事業評価委員会（委員6人）

開催日 7月25日(月)

- ウ. 広報委員会（委員8人）

未実施

- エ. 平塚市地域福祉推進懇話会（委員11人）

開催日 8月3日(水)

- オ. 苦情解決第三者委員会（委員3人）

未実施

(6)部会活動推進事業

社会福祉協議会の事業推進と連携強化を目的として、部会に運営費等を助成した。

5部会 合計 420,000円

・地区社協部会 60,000円

・自治会部会 18,000円

・民生委員部会 54,000円

・保護司部会 27,000円

・福祉施設部会 261,000円（部会運営費 81,000円 施設職員研修費補助 180,000円）

(7)基金管理事業

ア.平塚市社会福祉基金

(ア) 受入件数及び受入額

社会福祉基金設置以後の累積受入件数及び受入額については下表のとおり

区分	昭和 56 年度～前年度		当年度		受入額	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
市拠出金	8	400,000,000	—	0	8	400,000,000
民間寄託金	9,509	632,342,691	58	1,439,273	9,567	633,781,964
合計	9,517	1,032,342,691	58	1,439,273	9,575	1,033,781,964

※受入額のうち 60,033,310 円は小泉基金

(イ) 社会福祉基金の造成と運用

平成 27 年度からは、受け入れた寄附金を直接事業費に充てている。なお引き続き国債、地方債等で運用している。 参考資料：「社会福祉基金事業一覧表」

前年度末造成額 964,659,887 円

当年度取崩し 154,735,535 円 (事業費充当 300,000 円、償還等 154,435,535 円)

当年度末造成額 809,924,352 円

(8)小泉基金管理事業

故小泉由治郎福祉活動基金 (小泉基金)

平成 12 年度に故小泉由治郎氏より受け入れた寄附金 (60,033,310 円) については、事業準備積立金となっていたが、平塚市社会福祉基金管理委員会の決定を受け、社会福祉基金内に別基金として設置した。この基金は、次世代を担う青少年の福祉ボランティア意識の啓発を行うことを目的とした事業 (ボランティア啓発育成事業) に活用する。

※事業の実績は、「Ⅲ - 2 - (4) 小泉基金福祉活動助成事業」に掲載。

・小泉基金残高

前年度末基金額 49,358,711 円

当年度取崩し 1,673,570 円

当年度末基金額 47,685,141 円

(9)遺児等基金管理事業

ア. 交通遺児等福祉基金

交通遺児等の援護のために受け入れた寄附金については、基金に積立を行い、地方債で運用している。

区 分	件数	寄附金額(円)	基金総額(円)
交通遺児へ	4	264,006	63,376,958 (うち償還 49,444,000)

イ. 善意の寄附金

区 分	件数	寄附金額(円)
児童福祉へ	2	75,402
法人へ遺贈	1	853,520
福祉会館事業へ	1	20,000
法人後見事業へ	1	10,000
法人管理事業へ	1	38,303
車両寄贈指定寄付	1	9,266,320
合 計	7	10,263,545

(10)一般事業配分金事業

ア. 神奈川県共同募金会平塚市支会

市社協内に事務局をおき、赤い羽根及び年末たすけあい募金活動を実施した。

(ア) 常任委員会 (定数 16 人)

- 開催日 7月19日(火)
- (イ) 支会委員会 (23地区の地区社協会長、自治会連絡協議会長、民児協会長ほか)
- 開催日 8月10日(水) (書面開催)
- (ウ) 支会監事会 (監事2人)
- 開催日 5月27日(金)
- ・前年度平塚市支会会計収入支出決算について

(エ) 募金額

募 金	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率
赤い羽根共同募金	19,000,000	18,270,841	96.16%
年末たすけあい募金	16,500,000	16,459,434	99.75%
合 計	35,500,000	34,730,275	97.83%

(オ) 当年度 地区別赤い羽根・年末たすけあい募金運動結果表(単位 円)

	世帯数	赤い羽根実績額	年末実績額	実績合計
富 士 見	3,806	1,093,730	1,125,890	2,219,620
崇 善	2,770	582,310	611,750	1,194,060
松 原	1,741	531,653	559,933	1,091,586
港	3,163	1,004,113	1,017,285	2,021,398
花 水	4,592	1,024,769	1,078,392	2,103,161
なでしこ	2,158	561,458	562,725	1,124,183
八 幡	1,699	485,220	475,250	960,470
真 土	2,097	594,930	591,780	1,186,710
四 之 宮	2,543	746,390	732,050	1,478,440
中 原	3,114	943,002	937,395	1,880,397
南 原	1,213	372,450	367,061	739,511
松 が 丘	1,893	505,500	513,820	1,019,320
豊 田	1,514	302,800	302,800	605,600
田 村	3,001	735,098	743,197	1,478,295
大 神	1,246	389,400	383,600	773,000
横 内	3,033	600,900	603,250	1,204,150
城 島	911	274,200	275,200	549,400
岡 崎	2,771	634,800	505,500	1,140,300
金 田	2,641	764,140	769,000	1,533,140
土 沢	1,165	342,450	314,954	657,404
旭 南	4,602	1,205,569	1,245,825	2,451,394
旭 北	5,012	1,325,480	1,304,210	2,629,690
金 目	4,458	1,303,250	1,306,000	2,609,250
めぐみが丘	635	134,012	126,840	260,852
そ の 他		1,813,217	5,727	1,818,944
合 計	61,778	18,270,841	16,459,434	34,730,275

(カ) 神奈川県福祉作文コンクール

小・中学校合わせて177校5,611編作品が寄せられ、平塚市から3編が入選した。平塚市応募総数97編(内訳 小学生 6校 14編 中学生 4校 83編)

【小学生の部】

・最優秀賞 大原小学校4年 大和 慶剛 『ぼくの病気と車いす生活』

【中学生の部】

・最優秀賞 春日野中学校3年 前田 乃裕 『知ること』

(キ) 災害義援金

個人や団体からお預かりした義援金を併せ、該当の県募金会へ送金した。

・令和4年大雨災害義援金	1,313 円
・令和4年台風15号災害静岡県義援金	10,000 円

(11) 年末たすけあい配分金事業

参考資料参照：「年末たすけあい配分事業一覧表」

Ⅱ. 老人福祉センター拠点区分

1. 老人福祉センター事業

(1) 老人福祉センター事業

ア. 老人福祉センター等の利用状況 人数は延べ、() はうち数

	開館 日数	個人利用			団体利用			合計 人数
		人数	入浴 利用人数	機能回復 訓練室及 び教養室	利用 団体数	人数	日曜 人数	
福祉会館 老人福祉 センター	298 日	18,722 人	(9,177 人)	(1,635 人)	(83 人)	1,676 人	(347 人)	20,398 人

・コロナ禍のため風呂は10月末まで予約制として受付した。

イ. 健康相談 看護師を配置し、老人福祉センター利用時に血圧測定等を実施
6,313 人

ウ. 福祉会館指定管理事業及び自主事業

(ア) 囲碁ボール体験

定例的に月1回から2回開催した。 22回 317人

(イ) 健康体操、輪踊り

3階老人福祉センターにて朝10:00頃とお昼休み後に利用者向けに健康体操と輪踊りを実施。

・健康体操 4,750人 ・輪踊り 1,124人

(ウ) 看護師のミニ講座

	場所	参加者
4月11日(月)	3階大研修室	6人 「ふうせんバレー」
6月21日(火)	3階大研修室	3人 「口の体操、新聞破り」
9月15日(木)	3階大研修室	12人 「かかりつけ歯科の話とハンカチ送り」
11月21日(月)	3階大研修室	7人 「ふうせんバレー」
2月14日(火)	3階大研修室	7人 「血圧を下げる食事について」

・身体測定実施

5月 2日間 22人、8月 2日間 26人、11月 2日間 45人、
2月 2日間 41人

(エ) 季節の行事

7月に七夕の短冊づくりや12月の柚子湯、老人福祉センターでは、装飾でハロウィン、クリスマス、お正月、ひな祭りなど季節の飾りつけをして利用者の方へ季節を感じていただきました。

(オ) 菖蒲湯 5月 6日(金) 38人、柚子湯 12月22日(木) 34人

Ⅲ. 福祉会館拠点区分

1. 小地域福祉活動支援事業

(1) 小地域福祉活動支援事業

ア. 地区担当制（CSW）

（ア）地区担当職員が地域の会議に参加し、各地区の課題や状況把握および情報提供に努めるとともに、地域からの相談等に随時対応した。

35回（前年度16回）

（イ）CSW相談件数 92件

（ウ）世帯に対し、個別支援の対応をした。

44回（前年度8回）

イ. 地区別活動支援

地区社会福祉協議会、高齢者よろず相談センター、福祉村等の主催で実施された各種事業に地区担当者が参加した。

16回（前年度18回）

ウ. 地区懇談会

地域福祉計画・地域福祉活動計画に伴う地区懇談会を企画し開催した。

1回（前年度 1回）

エ. 広報啓発

地域の活動状況を周知するために、地区社協会長連絡会議や地域の会合等で活動事例を紹介した。

(2) 社明運動助成事業

青少年健全育成（年末募金配分）

社会を明るくする運動の推進母体に活動費を助成

180,000 円

コロナ禍のため規模縮小で開催となった。

(3) 在住外国人共生事業

在住外国人生活支援実践活動への補助（年末募金配分）

横内プロジェクトへ事業費補助

150,000 円

日本語教室、子ども教室、生活相談の3部門構成にて、横内団地集会所における活動の支援を行った。

(4) 地区社協活動支援事業

ア. 地区社協会長（地区社協部会）役員会及び連絡会議

（ア）監事会 6月8日（水）

- ・令和3年度地区社協部会事業報告
- ・令和3年度地区社協部会決算について
- ・書類の確認及び講評

（イ）役員会（3回）

a. 6月8日（水）

- ・令和3年度地区社協部会の決算報告
- ・令和4年度地区社協部会事業計画・予算
- ・地区社協部会各種委員の選出（案）について

- ・平塚市社協の事業について
- ・「福祉の学びの場」の計画状況について
- ・地区社協会長連絡会議について
- ・その他
- b. 12月12日(月)
- ・受賞関係の報告
- ・賛助会費、赤い羽根共同募金の中間報告
- ・平塚市社協の各種イベントについて
- ・令和5年度の地区社協の補助金交付の考え方について
- ・地区社協向けオンライン研修会について
- ・令和4年度「ふれあい広場助成」について
- ・令和4年度地区社協部会ブロック別研修会について
- ・意見交換
- ・その他

- c. 3月6日(月)
- ・賛助会費・赤い羽根共同募金について
- ・次期地域福祉リーディングプラン策定について
- ・包括的支援体制の構築に向けた社協の取り組みについて
- ・令和5年度地区社協福祉事業活動費補助金交付金額（見込）について
- ・災害時における市社協と地区社協の連携に係る検討について
- ・地区社協部会の計画と予算について
- ・意見交換・情報交換
- ・その他

(ウ) 部会（地区社協会長連絡会）（3回）

- a. 6月30日(木)
- ・令和3年度地区社協部会事業報告・決算報告
- ・令和4年度地区社協部会事業計画・予算について
- ・地区社協部会役員及び市社協等各種委員の選出について
- ・賛助会員募集「趣意書」について
- ・赤い羽根共同募金資材の確認について
- ・令和4年度社会福祉関係功労者の推薦について
- ・令和4年度平塚市社協の事業について
- ・情報提供・意見交換
- ・その他

- b. 12月23日(金)
- ・受賞関係の報告
- ・賛助会費・赤い羽根共同募金の中間報告
- ・平塚市社協の各種イベントについて
- ・令和5年度地区社協補助金交付の考え方について
- ・令和4年度「福祉の学びの場」について
- ・令和4年度地区社協ブロック別研修会について
- ・連絡事項
- ・意見交換
- ・その他

- c. 3月24日(金)
- ・賛助会費・赤い羽根共同募金について
- ・次期地域福祉リーディングプラン策定について
- ・包括的支援体制に向けた社協の取り組みについて
- ・令和5年度地区社協福祉事業活動費補助金交付金額（見込）について
- ・災害時における市社協と地区社協の連携に係る検討について
- ・地区社協部会の計画と予算について

- ・意見交換・情報交換
- ・その他

(エ) 検討会(3回)

災害時における平塚市社協（災害ボランティアセンター）と地区社協との連携に係る検討会

a. 8月25日(木)

- ・災害時の地区社協と市社協の連携について（意見交換）
- ・ブロック別研修会のテーマについて
- ・その他

b. 12月9日(金)

- ・地区社協部会ブロック別研修会の振り返り
- ・災害時の地区社協と市社協の連携について
- ・その他

c. 2月27日(月)

- ・災害時の地区社協と市社協の協力体制について
- ・その他

イ. 地区社協活動支援事業

(ア) 地区社協活動支援補助事業

地域の福祉活動を推進するため、運営費、事業費を地区社協に助成した。

社会福祉 基金事業	地区社協活動推進事業(23 地区)	2,239,761 円	3,506,891 円
	自治会加入加算	130,000 円	
	高齢者等サロ開催費	822,130 円	
	地区ふれあい福祉相談事業費(21 地区)	315,000 円	
共同募金 一般配分	地区社協活動事業費(23 地区)	1,607,007 円	2,735,994 円
	協力者育成事業費 (23 地区)	1,128,987 円	
共同募金 (年末募 金配分)	地区ふれあい広場助成(23 地区)	1,656,000 円	1,707,120 円
	サロン事業実績地区助成(5 地区)	51,120 円	
	小計		7,950,005 円
賛助会費 還元	賛助会費の75%を団体活動費助成金として23地区社協に還元		13,251,116 円
	合計		21,201,121 円

(イ) 地区社協活動支援事業

a. 研修事業

(a) 地区社協部会研修会

【ブロック別研修会】

- (1) 「平塚市災害ボランティアセンター運営マニュアル」の説明
- (2) 災害が起きた時の避難行動と自主防災組織の活動

第1ブロック	第2ブロック	第3ブロック	第4ブロック
10月8日(土) ベイサイドホール港	10月13日(木) 大神公民館	10月25日(火) 中原公民館	10月4日(火) 吉沢公民館

(b) その他の研修会

令和4年度平塚市地域共生フォーラム「ブラインドサッカーを通じた体験と地域の支え」～視覚障がい者のサッカー、ブラインドサッカーは私たちに無限の「自由」を与えてくれる～

オンライン併用 令和5年2月9日(木) 106人

b. 視察受入れ等支援事業

今年度実施なし

(5) 民児協支援事業

住民の福祉に欠かせない民生委員児童委員活動を促進する目的で助成を行った。

・実態把握活動費（年末募金配分） 2,768,000 円

(6) 団体支援事業

ア. 平塚市自治会連絡協議会（年末募金配分）

共同募金活動の他、福祉事業の協力費として運営費を助成。 700,000 円

イ. その他福祉関係団体へ活動費の補助を行った。（年末募金配分）

高齢者福祉 老人クラブ連合会事業費補助 90,000 円

母子福祉 母子福祉なでしこ会事業費補助 36,000 円

障がい児者福祉等 福祉当事者団体事業費補助 13 団体 468,000 円

平塚市障がい者団体連合会	36,000 円	平塚市肢体障害者福祉協会	36,000 円
平塚市肢体不自由児者父母の会	36,000 円	平塚市視覚障害者協会	36,000 円
平塚市聴覚障害者協会	36,000 円	平塚市手をつなぐ育成会	36,000 円
平塚市自閉症児者親の会	36,000 円	平塚市腎友会	36,000 円
湘南あゆみ会	36,000 円	平塚市地域作業所連絡会	36,000 円
平塚市介護の会はまゆう	36,000 円	すばる	36,000 円
あおぞら里親会	36,000 円		

ウ. 団体記念事業補助金交付（共同募金一般配分）

0 円

(7) 地域活動支援センター等補助事業

ア. 地域活動支援センター等利用者活動促進事業（社会福祉基金） 202,500 円

特非) よろずやたきの会 夢工房 明日花

イ. 地域活動支援センター等事業助成（年末募金配分） 1,336,096 円

(ア) 地域活動支援センターへの配分

（1 か所：上限 100,000 円） 14 か所 833,119 円

(イ) グループホーム、ケアホームへの配分

（1 か所：上限 60,000 円） 6 か所 203,119 円

(ウ) 障がい児学童保育への配分

（1 か所：上限 35,000 円） 9 か所 299,858 円

(エ) EEJA 株式会社から福祉向上のため車両寄贈を受け福祉施設へ配分

2 施設 社会福祉法人至泉会 精陽学園

社会福祉法人湘南富士見会 桜ヶ丘ケアセンター

(8) 子育て支援育成事業

ア. 平塚市内で子育て支援を行っている団体等、また、これから行おうとする団体等に対し、地域との交流を目的に運営費の一部を補助した。（共同募金一般配分）

また、前年度に感染対策の上、サロンを開催した団体に対し、年間の実施回数 1 回～

9 回は 5,000 円、10 回以上は 10,000 円を加算した。 21 団体 615,000 円

補助額	5,000 円	10,000 円	15,000 円	20,000 円	25,000 円
団体数	0	3	1	6	2
補助額	35,000 円	40,000 円	45,000 円	50,000 円	申請なし
団体数	1	3	1	4	1

内 訳 ※下記は補助上限加算額

新規活動団体 (1 団体 15,000 円) 0 団体
廃止団体 1 団体

・1 回の子ども平均参加人数別

1 2 人未満 (1 団体 10,000 円) 1 7 団体
1 3 ～ 2 4 人 (1 団体 20,000 円) 3 団体
2 5 人以上 (1 団体 30,000 円) 2 団体

※コロナ禍で前年度の平均参加人数が減少しているため、平均参加人数の基準を半数に下げた。

・年間事業実施回数別

1 0 回未満 (1 団体 10,000 円) 1 4 団体
1 0 ～ 1 9 回 (1 団体 20,000 円) 4 団体
2 0 回以上 (1 団体 30,000 円) 4 団体

・感染対策補助

1 ～ 9 回 (1 団体 5,000 円) 8 団体
1 0 回以上 (1 団体 10,000 円) 8 団体

イ. 子育て団体支援事業

(ア) 子育て支援者交流会

開催日 1 月 1 1 日(水)
場 所 平塚市福祉会館 2 階 第二会議室
内 容 令和 4 年度 子育て応援団体！交流会
・子育て支援センター職員による手遊びなどのレクチャー
・子育て応援団体の交流会
・ひらつか子ども・子育て支援フォーラムのお知らせ他
参加者 1 4 人(9 地区・1 0 団体)
平塚市役所保育課

(イ) 子育て応援団体冊子の作成と配布 4,000 部

ウ. ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク事業

子育て支援に関わるネットワークづくりを進めることを目的として、行政や子育て支援者等とネットワークづくりに向けての会議を開催した。

(ア) ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会(2 回)

行政、民間の委員を置き、当ネットワークのあり方や進め方などについて意見や提言を行う。

開催日 8 月 1 0 日(水)、3 月 2 9 日(水)

(イ) ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク部会(6 回)

子ども・子育て支援ネットワークの活動を具体的に推進し、推進委員会、各プロジェクト、交流会等の調整を行い、取り組み状況等を推進委員会に報告をする。

開催日 6 月 2 4 日(金)、7 月 2 0 日(水)、9 月 1 6 日(金)、
1 1 月 2 8 日(月)、1 月 1 3 日(金)、3 月 1 5 日(水)

(ウ) 子ども・子育て支援ネットワーク 各プロジェクト(7 回)

・情報発信プロジェクト

子育て世帯や子育て支援者に有益な情報をホームページ等にて適宜提供できるようにするための検討を行った。

開催日 7 月 1 3 日(水)、8 月 3 1 日(水)、9 月 2 2 日(木)、
1 0 月 2 6 日(水)、1 1 月 2 9 日(火)、2 月 8 日(水)、
3 月 8 日(水)

・交流会プロジェクト(6 回)

市域での交流会の開催を目指す。初年度にあたり、「子ども・子育て支援フォーラム」を 1 月 2 2 日(日)開催した。

- 開催日 7月14日(木)、9月22日(木)、10月20日(木)、
12月9日(金)、1月6日(金)、2月24日(金)
- ・学習・食堂プロジェクト(7回)
- 周知ならびに協力者等を増やすため、市社協講座への協力、関係者向けのつどいを開催した。「子ども食堂・学習支援講座」11月18日(金)、「学習支援・子ども食堂のつどい」11月26日(土)
- 開催日 7月15日(金)、9月9日(金)、10月7日(金)、
10月27日(木)、12月7日(水)、1月6日(金)、
2月20日(月)
- ・アンケートプロジェクト(7回)
- 子育て中の保護者や支援者、企業や行政等から、必要な支援や子育てに関する要望等のアンケートを検討するため実施した。またキックオフ・イベントを2月5日(日)に開催した。
- 開催日 7月19日(火)、9月9日(金)、10月12日(水)、11月14日(月) プレ・イベント、1月30日(月)、2月27日(月)、
3月27日(月)

2. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター事業

市民の善意の開発と、地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行い、社会福祉の増進を図った。

ア. ボランティアセンターの運営

ボランティアセンター運営委員会の実施

(ア) 7月15日(金) 委員8人出席

- ・令和3年度事業報告(案)及び決算(案)について
- ・令和3年度ボランティア相談及び登録状況について
- ・令和4年度各種ボランティア講座について

(イ) 3月29日(水) 委員11人出席

- ・令和5年度事業計画(案)について
- ・令和5年度予算(案)について
- ・令和5年度各種ボランティア講座(案)について

イ. ボランティアの相談斡旋

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の相談・援助及びボランティアニーズ調整を行った。()は前年度の実績

相談日数 243日(242日)
相談時間 8:30~17:00
相談件数 507件(568件)
派遣件数 295件(221件)
派遣延べ人数 842人(640人)

ボランティア登録人数

	当年度	前年度
個人	165人	230人
団体	98団体 1,590人	103団体 1,789人
登録人数	1,755人	2,019人

ウ. 調査・研究事業

新型コロナウイルス等各種感染症に対応した災害ボランティアセンターの受付や募集、運営方法等を他県の事例を参考に検証した。

全国社会福祉協議会から、感染症に配慮し、ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営を問われた。そのため、災害ボランティア登録者へ二次元コードを送付し、設置運営訓練の申し込みを事前に行う取組や災害ボランティア養成講座において二次元コードを活用した災害ボランティアの申し込みをデモンストレーションで実施する体験を行った。今後の災害ボランティア登録と受け入れ態勢の構築に向け、ICTを活用し効率化を進めた。

エ. 広報啓発事業

(ア) 全国社会福祉協議会発行の冊子「ボランティア情報」を購入し、センター内で配架、地区社協へ配付をした。年12回

(イ) 「ボランティア活動ガイド」を配付した。15冊

(ウ) FM湘南ナパサ、民間情報誌へボランティア講座の案内等の情報提供を行った。またSNSなどでボランティア募集を呼びかけた。

(エ) ボランティアセンターのブログを通じ、学校で行っている福祉学習の実施状況、ボランティア講座の案内及び報告、ボランティア団体の紹介等を行った。

(オ) ボランティアセンターの掲示板を活用し、ボランティア募集情報やボランティア講座のお知らせ、福祉学習を実施した小・中学校の児童・生徒からの感想文等を掲示した。

(カ) ビデオライブラリーの整備

福祉学習を行っている中学校等に貸し出しを行った。

保有数 117巻(内DVD22巻)

神田中学校へ 7巻貸出

(2) ボランティア育成事業

ア. 福祉ボランティアスクール

市民を対象に社会福祉の意識啓発及び育成、ボランティア活動への参加促進と活性化を目的として開催。平塚ボランティア連絡会の協力を得て実施した。

開催日 11月2日(水)～12月14日(水) 毎週水曜日 全6回

内 容 ①「話を聴くことの大切さ～傾聴の意味と意義」(講義・体験)

②「聴覚障がい者の理解をする～手話体験」(講義・体験)

③「視覚障がい者の理解をする～誘導体験」(講義・体験)

④「視覚障がい者の理解をして点字を学ぼう」(講義・体験)

⑤「聴覚障がい者を知り要約筆記の理解をする」(講義)

⑥「これからボランティア活動を始めるために」(講義)

平塚ボランティア連絡会加盟ボランティアグループ、ボランティア活動の紹介

受講者 12人 延べ46人

イ. 精神保健福祉ボランティア養成講座

精神障がい者を正しく理解し、精神疾患がある方の良き理解者となり、共に地域に根ざした活動となることを目的として開催した。

開催日 11月12日(土)、19日(土)

内 容 ①精神障がい者への接し方・話し方について

②「当事者から・精神障がい者支援相談事業所から」

講 師 ①湘南精神保健福祉士事務所 代表 長見 英知 氏

②平塚市障がい者地域生活相談支援センターほっとステーション平塚
施設長 村田 剛 氏

受講者 1日目24人 2日目22人 延べ 46人

ウ. 保育ボランティア初心者講座

保育ボランティアを養成する講座として、ボランティアに必要な基礎知識を習得することを目的に開催した。保育ボランティアとして安心して乳幼児と関わることができる内容とし、講座終了後はボランティア活動につながるなど成果が得られた。

開催日 5月20日(金)、27日(金)、6月3日(金) 全3回

内 容 ①「ボランティアの心得」(講義)

「乳幼児の特性とコミュニケーションの方法について」(講義)

②「子どもに起きやすい事故の予防・ケガの対応について」(講義・体験)

③「子どもの遊び・すぐにできる手遊び」(講義・体験)

「保育ボランティアの体験談」

講 師 ①当協議会 地域福祉推進課職員

平塚市こども発達支援室くれよん 保育士 海老澤 加奈子氏

②平塚市健康課 保健師 杉崎真紀氏、渡邊 望氏

③平塚市子育て支援センター職員

受講者 14人 延べ 38人

エ. 親子で福祉体験こどもスクール

夏休み期間を利用して様々な福祉体験を通し、高齢者・障がい者への理解と関心を深め、親子での参加を呼びかけ、親子で「福祉」について考えるきっかけづくりを目的として開催。

開催日 ①7月28日(木)、②29日(金)

内 容 ①点字体験

②手話体験

講 師 ①平塚点訳赤十字奉仕団

②平塚市聴覚障害者協会、平塚手話サークル七夕会

受講者 19人 延べ 35人(親子9組)

オ. ボランティア養成講座(知的障がい児編)

知的障がい児への接し方やコミュニケーション方法等について学び、知的障がい児へのボランティア活動に繋げることを目的に開催した。

開催日 9月9日(金)、16日(金)、30日(金) 全3回

内 容 ①知的障がい児の特徴について

②自閉症について

③平塚市手をつなぐ育成会の活動

講 師 ①サンシティひらつか ②れいんまん・広め隊 ③平塚市手をつなぐ育成会

受講者 23人 延べ 61人

カ. サロンボランティア向け講座

(ア) サロンボランティア向け講座(地区社協・福祉村対象)

地区でサロンや給食会、ミニデイサービス他、各種開催されている、ボランティアセンターに登録している地区ボランティアグループを対象に、身近に出来る健康づくりや地域で活用出来るレクリエーション手法を学んでいただきそれぞれの地域で活用出来る事を目的として開催した。

開催日 11月25日(金)

場 所 勤労会館 3階大会議室

内 容 「地域で活用出来る様々なレクリエーションについて」

「身近に出来る健康づくりについて」

講 師 当協議会 地域福祉推進課職員

受講者 29人(地区社協、町内福祉村)

(イ) サロンボランティア向け講座(地区ボランティアグループ対象)

開催日 11月25日(金)

場 所 勤労会館 3階大会議室
内 容 「地域で活用出来る様々なレクリエーションについて」
「身近にできる健康づくりについて」
講 師 当協議会 地域福祉推進課職員
受講者 22人（地区ボランティアグループ）

キ. ボランティアのつどい

ボランティアセンターに登録する全てのボランティアが一堂に会し、情報交換や交流をする場として開催。

開催日 1月21日（土）
場 所 勤労会館 3階大会議室
出演者 演芸ボランティア「楽しいハーモニカなでしこの会」18人
演芸ボランティア「大島齊太郎一座」5人
朗読者 平塚市立大原小学校 4年生 大和 慶剛さん
講 話 「これからのボランティア活動について」
当協議会 職員
内 容 演芸ボランティア2団体発表、第45回神奈川県福祉作文受賞作品
朗読、講話
参加数 92人

ク. 福祉学習指導者養成講座

市内小・中学校等で行われる福祉学習において、車いす体験や高齢者疑似体験の指導者となる方を養成した。対象者は、市内在住で、福祉施設で実務経験があり、介護の資格を有している方を対象として募集した。

開催日 3月20日（月）
講 師 当協議会 地域福祉推進課職員
受講者 6人 4人登録

ケ. 収穫ボランティア養成講座（新規事業）

（ア）収穫してほしい人募集

高齢や障がいのため高い場所の収穫が困難な方やできすぎてしまった果樹や野菜を提供いただける方を募集した。収穫は、収穫ボランティアが行い、収穫物はこども食堂や地域の活動に提供した。柚子を老人福祉センター柚子湯に活用

（イ）収穫を行うボランティアの養成

収穫してほしい人から問い合わせがあった際、収穫を行うボランティアの養成を行った。

開催日 3月28日（火）
場 所 福祉会館 第二会議室
内 容 ボランティアについて、収穫ボランティアのコンセプト、ボランティア保険について、高枝切ばさみでの実践
受講者 14人 登録13人

コ. こども食堂・学習支援講座（新規事業）

子ども食堂や学習支援団体を立ち上げたい人や協力したい人の参加に加え、取組み内容や課題等を広く市民等に理解していただくことを目的として開催した。子ども・子育て支援ネットワークの学習支援・子ども食堂プロジェクトチームの協力を得て実施し、1月26日（土）に開催される「学習支援・子ども食堂のつどい」につなげた。

開催日 11月18日（金）
場 所 平塚市勤労会館 3階大会議室
内 容 ①学習支援について
講師：学習支援主催団体代表者 大野文氏・井上勝博氏
②子ども食堂について

講師：子ども食堂主催団体代表者 佐藤由美子氏・堤園子氏
 受講者 35人

サ. 専門ボランティア養成講座（社会福祉基金事業）

ボランティアグループが専門性の高い内容の講習を行うことで、福祉を理解し実際の活動のきっかけとなることを目的とした。講座終了後は主催団体へ入会するなど専門ボランティアのすそ野を広げることができた。

初心者向けボランティア養成講座を6団体で7講座を開催した。

助成額 296,000 円

点訳講習会・拡大写本講習会 104,000 円（平塚点訳赤十字奉仕団）、手話講習会 38,000 円（手話サークル七夕会）、38,000 円（手話サークル平の会）、要約筆記講習会 48,000 円（要約筆記サークルひらつか）、音訳講習会 38,000 円（平塚音訳赤十字奉仕団）、傾聴講習会 30,000 円（神奈川県傾聴赤十字奉仕団）

主催	講座人	開催日	回数	参加者	延べ人数
平塚点訳 赤十字奉仕団	点訳 基礎講習会	9月13、20、27日、 10月4、11日	5回	7人	24人
	拡大 写本講習会	5月18、25日、 6月1、8日	4回	3人	9人
手話サークル 七夕会	初心者 手話講習会	7月26日、 8月2、9、16、23日	5回	16人	55人
	初心者 手話講習会	2月21、28日、 3月7、14、28日	5回	19人	86人
手話サークル 平の会	初心者入門 手話講習会	9月1、8、15、22、29 日、10月6、13、27日	8回	10人	70人
要約筆記サー クルひらつか	手書き要約筆 記入門講習会	10月12、26日、 11月2、9、16、30日	6回	5人	30人
平塚音訳 赤十字奉仕団	録音図書作成 のための音訳 初級講習会	9月30日、 10月7、14、28日、 11月4日	5回	6人	20人
神奈川県傾聴 赤十字奉仕団 平塚分団	傾聴ボラン ティア養成講座	5月28日、 6月18、25日	3回	34人	74人

シ. 福祉学習、研修事業などへ協力

小・中・高等学校、地区社協、地域ボランティアグループなどにボランティア活動や体験学習（車いす操作方法体験、高齢者疑似体験、点字体験、誘導法体験、手話体験、盲導犬への理解、視覚障がい者の講話、車いすバスケットボール体験、認知症サポーター養成講座、災害学習等）の講師等として協力した。

あわせて、高齢者や障がい者等への接し方を学び、福祉の心を育んだ。

体験学習実施	学校数	人数	講師人数
小学校（対象数28校）	19校	4,164人	194人
中学校（中等教育学校も含む）（対象数16校）	7校	2,153人	127人
高等学校・特別支援校	1校	194人	14人
平塚市・専門学校・地域等（出張ボランティア スクール）	21件	817人	57人
合 計	48件	7,328人	392人

（ア）福祉学習連絡会 コロナ禍のため中止

（イ）福祉学習担当者説明会

市内小、中、高等学校、特別支援学校の福祉学習担当教員を対象に福祉学習の説明会を開催した。

開催日 6月1日(水)、6月13日(月)

参加者 15校 18人

ス. 点訳、音訳奉仕団助成事業(社会福祉基金事業)

平塚点訳赤十字奉仕団 助成額 85,000 円

平塚音訳赤十字奉仕団 助成額 10,000 円

セ. 視覚障がい者支援 音訳ライブラリー整備事業(社会福祉基金事業他)

52,399 円

ソ. ボランティア保険の取扱い

ボランティア活動保険 個人 42件 42人 (うち被災地支援10件10人)
団体 119件 1,960人 (うち被災地支援1件5人)

ボランティア行事用保険 88件 21,720人

送迎サービス補償 4件(個人0件 団体4件)

福祉サービス総合補償 3件

タ. 片付けボランティア養成講座(新規事業)

物いっぱい住宅、いわゆるごみ屋敷となっている世帯の背景・支援・関わり方を学び、住人が抱える課題を理解し寄り添った支援の方法を考えていくきっかけとし講座を開催した。

開催日 3月16日(木)

場 所 勤労会館 3階 大会議室

講 師 東邦大学看護学部 教授 岸 恵美子氏

内 容 物いっぱい住宅(いわゆる「ごみ屋敷」)世帯への背景・支援・関わり方を学ぶ～住人の抱える課題に寄り添った支援～

受講者 41人

(3) ボランティアグループ助成事業

ア. ボランティアグループ活動助成(社会福祉基金事業)

当年度実績	前年度実績
40グループ(市域19・地域21)	45グループ(市域19・地域26)
助成額 1,868,900 円	1,814,800 円

イ. 平塚ボランティア連絡会へ助成(社会福祉基金事業) 助成額 150,000 円

ウ. ボランティアグループ等活動補助金説明会

開催日 5月11日(水) 同内容を2回開催

場 所 福祉会館2階 第二会議室

参加者 32人

(4) 小泉基金福祉活動助成事業

ア. ボランティア啓発育成(小泉基金事業)

助成学校数 合計12校

内訳: 小学校3・中学校(中等教育学校含む)5・高等学校2・特別支援学校2

助成額 632,319 円 (前年度 627,980 円)

助成内訳

①学校・学年単位の助成 8件 296,000 円

②テーマ・企画に対する助成	4 件	126,319 円
③学校と地域の連携事業助成	4 件	210,000 円
イ. 福祉の学びの場（新規事業） 実施地区社協	2 2 地区	1,032,387 円
ウ. 教材購入費		179,664 円
ア～ウ合計		1,844,370 円

(5)災害時ボランティア事業

ア. 災害支援に関わる事業

(ア) ボランティア養成講座（災害時編）

災害ボランティアとして必要な知識を学び災害発生時に活躍できる方、災害ボランティアセンターにて活動出来る方の養成を目指し開催した。

開催日 12月10日(土)、17日(土)

場 所 勤労会館3階大会議室

参加者 延べ20人（3人が災害ボランティアに登録）

(イ) 平塚市総合防災訓練への参加

開催日 8月28日（土）

場 所 平塚市総合公園平塚はらっぱ周辺

内 容 被災地での活動紹介、災害ボランティア募集啓発、車いすでの搬送体験

(ウ) 第12回ひらつな祭への参加

開催日 3月11日（土）

場 所 紅谷パールロード、まちかど広場周辺

内 容 被災地での活動紹介、災害ボランティア募集啓発、車いすでの搬送体験

(エ) 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

関係団体、登録ボランティアを集めて設置運営訓練を行った。

内 容 災害ボランティアセンター設置運営訓練

開催日 3月25日（土）

場 所 福祉会館内外、勤労会館

参加者 62人（関係団体37人、登録ボランティア25人）（昨年度71人）

(オ) 他団体の訓練、フォーラム等に参加

・防災ネットワークの推進に向けた防災座談会

（ひらつか市民活動支援センター主催）

開催日 9月30日（金）

場 所 ひらつか市民活動センター

(カ) 福島県から避難民の方の七夕見学時あいさつ

ひらつか災害ボランティアネットワークの依頼により福島県から避難民の方を七夕見学へ案内する際の協力、熱中症対策品を配布した。

開催日 7月8日（金）

場 所 ひらしん平塚文化芸術ホール

(キ) 静岡市災害ボランティアセンターへ職員派遣

台風15号による被災地支援（静岡市葵区）

能條仁美

5日間

(6)自主事業

ア. 企業、団体、個人の方から寄付を受け、活用できる施設等に配布をした。

・寄附者 個人 33 件 企業 7 件 行政 1 件 NPO 法人 1 件

寄付者	寄付物品
ドン・キホーテ	マスク

(株) KELKE	テレホンカード 115 枚
大和ハウス工業 (株) 湘南支店	カレンダー20 本等
もったいないジャパン	水 500 本
貴峯	車いす 1 台
(株) 創	プロレス観戦チケット 50 枚
個人 33 件	おむつ、タオル、車いす、下着、洗剤等

・主な配分先、活用方法

子ども食堂、学習支援団体、地域活動支援センター、福祉施設、地域包括支援センター、静岡市清水区災害ボランティアセンター等に配布

イ. 車いすの貸出し

平塚市在住の障がい及び疾病により在宅での生活が困難な方に対して車いすの貸し出しを行った。

保有台数		41 台
貸出件数	延べ	74 件
貸出日数	延べ	1,384 日
利用料金	合計	17,000 円

ウ. 啓発パネル・DVDの貸出し

地域福祉の推進を図るため、啓発用のパネルやDVDの貸出しを行った。

啓発パネル	1 件	(前年度実績 0 件)
DVD	6 件	(前年度実績 10 件)

(7)障がい児等移送サービス事業

ボランティアの協力による障がい児等移送サービス事業（社会福祉基金）

平塚市障がい者自立支援協議会において検討された何らかの理由で通学が困難な障がい児を対象に運転ボランティアの協力による特別支援学校等への登下校の移送サービスを実施した。車両は、平塚市から譲渡された「ふくふく号」を使用した。

利用者	3 人	(平塚養護学校 1 人、湘南養護学校 2 人)
延べ利用回数	439 回	運転ボランティア 6 人で対応

3. 援護事業

(1)生計困難世帯援護事業

ア. 要援護世帯等の慰問金

夏期と年末に生計困難世帯に対して慰問金を贈呈した。物価高騰に伴い 1 人世帯 5,000 円、2 人以上世帯 10,000 円に増額した。

夏期慰問金（社会福祉基金）	金 額	件数	計
1 人世帯	5,000 円	41 世帯	205,000 円
2 人以上世帯	10,000 円	344 世帯	3,440,000 円
合 計		385 世帯	3,645,000 円

年末慰問金（年末募金配分）	金額	件数	計
1 人世帯	5,000 円	43 世帯	215,000 円
2 人以上世帯	10,000 円	368 世帯	3,680,000 円
合 計		411 世帯	3,895,000 円

イ. 小・中学校入学祝金及び入学準備補助、中学校卒業祝金（社会福祉基金）

生計困難世帯の小・中学校入学児童・生徒へ祝金と学生服の購入補助をした。なお、前年度に続き感染症の影響を考慮し祝金を10,000円増額した。

区分	祝金	被服購入費助成	人数	計
小学校入学	20,000円	10,000円	22人	660,000円
中学校入学	20,000円	20,000円	37人	1,480,000円
中学校卒業	20,000円		47人	940,000円
合計			106人	3,080,000円

ウ. 修学旅行等支度費補助（年末募金配分）

生計困難世帯の支援を目的として、小学6年生と中学3年生の修学旅行等支度費の一部を次のとおり助成した。

区分	支度費	人数	計
小学6年生	5,000円	22人	110,000円
中学3年生	10,000円	40人	400,000円
合計		62人	510,000円

(2) 激励金見舞金支給事業

ア. 遺児等援護事業

(ア) 交通遺児等激励金（交通遺児等福祉基金）

交通事故のため保護者が死去、または重度障害を負った世帯の18歳以下の子に対し、激励金を支給した。

区分及び単価	件数	支給合計
18歳以下の遺児等に年1回 激励金(1人15,000円)を支給	5世帯 8人	120,000円

(イ) 一般遺児激励金（年末募金配分）

病死等で保護者が死去した世帯の18歳以下の子に対し、激励金を支給した。

区分及び単価	件数	支給合計
18歳以下の遺児に年1回 激励金(1人15,000円)を支給	52世帯 74人	1,110,000円

(3) 寝たきり高齢者等慰問事業

寝たきり高齢者等慰問事業（社会福祉基金）

在宅の寝たきり高齢者（要介護度4・5）及び、身体障害1・2級で在宅生活されている方を対象に尿とりパッド・ウェットティッシュのセットを支給した。

年2回（8月 113人、2月 116人）計229人 141,520円

(4) 障がい児者支援事業

ア. 障がい児と保護者の慰安激励と交流を目的とし、「お楽しみ交流会 in 平塚海岸 平塚の魚をつかまよう！」をひとり親世帯支援事業と合わせて開催した。（共同募金一般配分）

開催日 6月4日（土）
場 所 平塚海岸東側
内 容 地引網
参加者 46人（15世帯）
協力者 20人（母子福祉なでしこ会・ボランティア）

イ. 福祉事業所合同説明会・見学会実行委員会の「福祉事業所一覧」発行費用として助成

した。(共同募金一般配分)

50,000 円

ウ. 視覚障がい者向けスマートフォン講座(新規事業)

視覚障がい者が ICT 化に取り残されていることを防ぐとともに、スマートフォンの操作を習得することで生活の質の向上を図ることを目的とし開催した。

開催日 ①12月8日(木)、②12月22日(木)※両日とも同じ内容

場 所 平塚市福祉会館 2階 第二会議室

講 師 株式会社 NTT ドコモ ドコモ・ハーティ講座事務局

内 容 「視覚障がい者向けスマートフォン講座～iPhone の基礎操作～」

受講者 ①12人、②11人

エ. 中途失明者対象点字講座(新規事業)

中途失明者を対象に点字の習得を提供する講座を開催。希望者は、講座終了後、平塚点訳赤十字奉仕団が対応して点字の習得を目指す。

開催日 2月1日、8日、15日、22日 毎週水曜日

場 所 平塚市福祉会館 1階 第四会議室

講 師 平塚点訳赤十字奉仕団

受講者 3人、付き添い1人

(5)点字図書購入費助成事業

ア. 点字図書購入費助成(社会福祉基金事業)

視覚障がい者(1・2級)に点字図書購入費の一部を助成した。 1件 13,000 円

イ. 録音・点字図書等の貸出事業

視覚障がい者の教養娯楽に供するため、点訳・音訳赤十字奉仕団の協力により各種録音図書及び点字図書の作成をした。

(ア) 受入数	録音図書(デジター・CD)	22タイトル	26枚
	点字図書	11タイトル	33冊
(イ) 保有数	録音図書(デジター・CD)	299タイトル	307巻
	点字図書	416タイトル	1,611冊

※デジターの貸出については、視覚障がい児者に限る。

(ウ) 貸出状況

	区 分	利用人数(延べ)	貸出巻数
録音 CD デジター	定期刊行物	941人	941巻 (内訳:声の広報 575、議会だより 67、 ラジオ深夜便 299、しおさい0)
	図書(デジター)	17人	49巻
	合 計	958人	990巻
点字図書	定期刊行物 (てんぴつ)	202人	202巻
	図 書	58人	195巻
	合 計	260人	397巻

(6)ひとり親世帯支援事業

ひとり親世帯の慰安激励と交流を目的とし、「お楽しみ交流会 in 平塚海岸 平塚の魚をつかまよう!」を障がい児者世帯支援事業と合同で開催した。(共同募金一般配分)

開催日 6月4日(土)

場 所 平塚海岸東側

内 容 地引網

参加者 32人(12世帯)

協力者 20人(母子福祉なでしこ会・ボランティア)

(7)子ども貧困対策支援事業

平塚市内で子どもの貧困対策支援として食糧支援及び子ども食堂、学習支援の活動団体への補助金事業を実施した。

・市域の活動団体 2件 200,000 円、・地域の活動団体 5件 150,000 円

IV. 平塚栗原ホーム介護拠点区分

1. 日常生活自立支援事業

(1)日常生活自立支援事業

認知症や知的・精神障がい等により、金銭や書類等の管理が難しい状況にある高齢者や障がい者等の権利を守り、安心して生活を送れるようにすることを目的として支援した。

ア. 広報啓発活動

日常生活自立支援事業ならびに成年後見制度の普及啓発を図るため、パンフレットの作成・配布、地域向け研修会での講義等を実施した。

イ. 日常生活自立支援事業（ひらつかあんしんセンター）

福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させることを目的に支援等を行った。

(ア) 相談援助活動

	当年度	前年度
問い合わせ、相談件数	2,616 件	2,700 件
新規依頼相談（ケース相談）	176 件	204 件
日常生活自立支援事業に関するもの（日常支援）	2,327 件	2,423 件
その他（来所相談・関係機関等からの問い合わせ等）	113 件	73 件

(イ) 契約件数

- ・実利用者数（年度末時点）93 件（前年度末89 件）
- ・契約件数 122 件
内訳：新規契約20 件（前年度13 件）、継続102 件（前年度98 件）
- ・解約件数 18 件（前年度10 件）

内訳	福祉サービス利用援助 ・日常的な金銭管理サービス	書類等 預かり	契約件数
高齢者（虚弱、認知症等）	39 件（37）	3 件（2）	42 件（37）
知的障がい者	17 件（17）	5 件（7）	22 件（18）
精神障がい者	41 件（36）	7 件（6）	48 件（37）
身体障がい者	10 件（9）	0 件（0）	10 件（9）
その他	0 件（0）	0 件（0）	0 件（0）
合計	107 件（99）	15 件（15）	122 件（101）

※（ ）は、前年度実績 ※件数は個人を単位としている。

(ウ) 訪問活動

- a. 専門員等の訪問調査活動 延べ 78 回
- b. 生活支援員の訪問及び活動 延べ 1,918 回
（※専門員代行分含む）

(エ) 日常生活自立支援事業事務局内カンファレンス

a. 開催件数 21件 (契約21件・契約に至らず0件)

b. 審査内容

対象者 項目		認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	身体 障がい者	その他 ・不明	合計
内 容	審査(契約・解約 ・支援計画等)	11件	4件	5件	1件	0件	21件
	相談・助言・その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件
合 計		11件	4件	5件	1件	0件	21件

2. 介護に関する入門的研修事業

(1) 入門的研修事業

神奈川県社会福祉協議会より受託し、介護に関する知識の習得と介護分野への参入のきっかけを作ることを目的に研修を開催した。

ア. 基礎講座①

実施内容 「介護に関する基礎知識」「介護の基本」

開催日 12月17日(土)

場 所 平塚栗原ホーム3階大会議室

講 師 平塚市地域包括支援センターふじみ 管理者・牧田律子氏

参加者 7名

イ. 基礎講座②

実施内容 「介護に関する基礎知識」「介護の基本」

開催日 3月24日(金)

場 所 平塚栗原ホーム3階大会議室

講 師 平塚市地域包括支援センターサンレジデンス 管理者・大日向由美氏

平塚市地域包括支援センターサンレジデンス 保健師・江成聡美氏

参加者 7名

ウ. 入門講座

実施内容 「基本的な介護の方法」「障がいの理解」「認知症の理解」等

開催日 2月18日(土)、25日(土)、3月4日(土)、11日(土)

場 所 平塚栗原ホーム3階大会議室

講 師 ひらつか地域介護システム会議所属事業所のスタッフ等
地域包括支援センターのスタッフ

参加者 16名(うち修了者14名)

3. 特定相談支援事業

(1) 相談支援事業

障害者総合支援法による次の事業を実施した。

ア. 障がい者等からの障がい福祉サービスなどの相談事業等を実施した。

(ア) 相談、調査件数

	当年度	前年度
電話相談	2,694 件	1,803 件
来所相談	31 件	17 件
ケアプラン作成訪問	517 件	425 件
サービス担当者会議	34 件	19 件
その他訪問	144 件	94 件
認定調査	27 件	21 件
合計	3,447 件	2,379 件

(イ) 計画作成件数

	当年度	前年度
平塚市	94 件	73 件
茅ヶ崎市	0 件	1 件
伊勢原市	0 件	1 件
横浜市中区	1 件	1 件
横浜市南区	1 件	0 件
秦野市	2 件	0 件
三浦市	1 件	－件
五島市	2 件	－件
合計	101 件	76 件

(ウ) モニタリング作成件数

	当年度	前年度
平塚市	258 件	245 件
茅ヶ崎市	8 件	7 件
秦野市	1 件	2 件
横浜市南区	3 件	2 件
伊勢原市	2 件	1 件
合計	272 件	257 件

4. 生活介護事業

(1) 生活介護事業

障害者総合支援法の利用者のサービス等利用計画に基づいて生活介護事業を実施した。

ア. 利用実績

・利用登録者数

内訳	当年度	前年度
区分3	5 人	7 人
区分4	1 人	0 人
区分5	2 人	4 人
区分6	25 人	25 人
合計	33 人	36 人

・利用人数

	当年度	前年度
人数（延べ）	3,054 人	3,216 人

1日平均	11.35人	11.96人
開所日数	269日	269日

イ. 年間行事

(ア) 毎月の誕生会と季節にあった行事を実施した。

月	内 容	月	内 容
毎月	誕生会	10月	園芸活動、ハロウィン
4月	お花見散策、園芸活動	11月	紙芝居、クリスマス飾りつけ
5月	屋上ランチ	12月	ミニクリスマス会
6月	園芸活動	1月	成人式、看護学生との交流会
7月	園芸活動	2月	節分豆まき、バレンタイン
8月	園芸活動、ミニ夏祭り		いちご狩り
9月	園芸活動、ミニ運動会、防災訓練	3月	ひな祭り工作、ハンドベル鑑賞、お花見、避難訓練

(イ) 創作活動

- ・5月母の日カード作り、6月父の日カード作り、染め紙作り、7月七夕飾り・短冊作り、12月クリスマスリース作り、1月絵馬作り

(ウ) その他の活動

- ・福祉事業所説明会参加（相談件数13件）、展示即売会
- ・お風呂（一般浴・特浴） 5月しょうぶ湯、12月ゆず湯

ウ. 研修及びボランティア・実習の受入れ

(ア) 研 修 職場体験及び実習、講話

受入日数 延べ22日

受入人数 延べ72人

- ・中学校（江陽中学校） 1日間 2人
福祉職場体験
- ・県立平塚看護大学 10日間 53人
- ・湘南平塚看護専門学校 7日間 13人
- ・日本福祉教育専門学校 2日間 2人
- ・田園調布学園大学 2日間 2人

(イ) ボランティアの受入れ

受入日数 延べ223日

受入人数 延べ234人

- ・一般 141日間 144人
- ・訪問マッサージ 48日間 48人
- ・パソコン 31日間 31人
- ・平塚歌唱サポートの会 2日間 10人
- ・神奈川傾聴塾 1日間 1人

(ウ) 実習等の受入れ

受入日数 延べ6日

受入人数 延べ12人 県立平塚養護学校高等部3学年 6日間 12人

エ. 平塚市養育支援訪問事業ヘルパー派遣業務

子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めることが困難な状況にある家庭に、過重な負担がかかる前の段階において、訪問による支援を実施することにより、当該家庭において安定した子どもの養育が可能となること等を目的に家事援助等を行った。

利用状況	当年度	前年度
支援内容	家事援助等	家事援助等

利用者数	5人	5人
利用回数(延べ)	30回	69回
利用時間(延べ)	30.5時間	72時間

オ. 自主ホームヘルパー派遣事業

介護保険制度や平塚市の保健福祉サービス、障がい者福祉サービスが利用できない方を対象に、個々に契約をして、ヘルパーの派遣を行い、家事援助等のサービスを提供した。

利用状況	当年度	前年度
支援内容	家事援助等	家事援助等
利用者数	8人	16人
費用区分(実数)	無料0人、有料8人	無料0人、有料16人
利用回数(延べ回数)	29回	308回
利用時間(延べ)	41.5時間	243.5時間

V. 豊田分庁舎拠点区分

1. 地域子育て支援拠点事業

(1) 子育て支援センター事業

子育て家庭の育児不安等についての相談対応・情報の提供、子育てサロン(交流の場)の運営及び子育てサークル等への支援、並びに地域のニーズに応じて子育て支援関連機関との連携等により、育児支援を行った。

ア. 実施施設 豊田分庁舎(子育て支援センター)

イ. 開設日 243日 (前年度 242日)

ウ. 利用状況

(ア) 利用総数 延べ8,207人(相談、視察等含む) (前年度7,626人)

(イ) 来所者 延べ7,876人(交流広場利用者数) (前年度7,399人)

(ウ) 相談者数 延べ2,227人(前年度2,232人)

(エ) 育児相談延件数 延べ2,253件(前年度2,799件)

(オ) 育児相談の内容

分類項目	相談内容	延べ件数
a 基本的な生活習慣 564件	睡眠	156件
	食事	259件
	排泄	79件
	着脱	10件
	清潔	49件
	その他	11件
b 発育・発達 548件	運動	9件
	身体の発育	136件
	言葉	127件
	社会性	114件
	癖	36件
	問題行動	82件
	その他	44件
c 育児方法 271件	関わり方	167件
	教育	10件
	健康	45件

d 生活環境 870件	育児不安	26件
	その他	23件
	友達	10件
	きょうだい	44件
	家族	43件
	夫婦	60件
	園・学校	513件
	母の体調	59件
	その他	141件

エ. 活動内容	・ 出向、訪問等での相談	0件
	・ 相談以外の補完的援助	202件
	・ 関係機関との連携・協力等	67件
	・ グループ支援	3件
	・ 会議、研修、視察等の参加	9件
	・ わくわくタイム	6回
	・ スペシャルジョイフルタイム	12回
	・ わくわくデイ	4回
	・ おもちゃの病院	11回
	※コロナ禍のため、福祉村の拠点を借りて開催	

2. 子育て援助活動支援事業

(1) ファミリー・サポート・センター事業

地域において育児の支援を受けたい人で行いたい人を会員として組織化。支援活動を通じ、安心とゆとりをもって子育てができる環境を作ることを目的として実施した。

ア. 実施施設	豊田分庁舎（ファミリー・サポート・センター）
イ. 開設日	243日（前年度 242日）
ウ. 会員数	（会員証発行人数）

	当年度	前年度	合計
延べ会員数	103人	95人	1240人
支援会員	16人	15人	307人
依頼会員	89人	80人	964人
うち、支援会員と 依頼会員の両方の会員	2人	0人	31人

※上記「合計」は、平成15年度からの累計数から退会者数を除いた人数。

※令和4年度は会員の人数整理のため、会員整理退会648人、通常退会12人（依頼会員6人、支援会員6人）計660人が退会している

エ. 問合せ件数	延べ2,868件（前年度 2,554件）
オ. 事前、顔合せ件数	延べ130件（前年度 136件）
カ. 活動件数	延べ2,280件（前年度 1,734件）
キ. 活動内容	単位：件（ ）は前年度

保育所・幼稚園への送迎及び預かりにかかる支援	718件	(491)
小学校、学童保育等への送迎及び預かりにかかる支援	329件	(367)
子どもの習い事等の場合の援助	747件	(505)
保育所・学校等休み時の援助	29件	(15)
保護者等の短時間・臨時的就労・求職活動中等の場合の援助	76件	(121)
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事	2件	(1)

の場合の援助		
保護者等の外出する場合の援助	200 件	(45)
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	53 件	(70)
他の子どもの世話や用事のための場合の援助	59 件	(43)
保護者等と一緒に子どもの援助	52 件	(17)
家事を済ませるための援助	12 件	(39)
保護者等の休息時の援助	3 件	(20)
その他	0 件	(0)
合計	2,280 件	(1,734)

※「産褥期の援助」は支援できなくなったため支援項目変更

ク. 研修会等

(ア) 支援会員講習会

第1回 6月28日(火) 8人 勤労会館2階中会議室
6月30日(木) 7人 勤労会館2階中会議室
7月 1日(金) 8人 勤労会館2階中会議室

第2回 11月14日(月) 8人 福社会館第2・3会議室
11月15日(火) 8人 福社会館第1・2会議室
11月17日(木) 8人 福社会館第1・2会議室

(イ) 支援会員フォローアップ研修会

第1回「正しい知識を身につけよう（コロナ禍におけるストレス・精神障害の理解と対応）」

開催日 8月 1日(月)
講師 湘南精神保健福祉事務所 長見 英知 先生
場 所 福社会館第2会議室・オンライン開催
参 加 支援会員 会場参加9人・オンライン参加4人

第2回「救命講習」

開催日 2月16日(木)
講師 平塚市消防救急課 3人
場 所 福社会館第2会議室
参 加 支援会員10人

(ウ) 支援会員交流会

「～人形劇 さるかに合戦 ほか～」
講師：人形劇サークル アフターマーチ
2月 4日(土) 福社会館第2会議室
支援会員 1人、依頼会員 20人（家族、子ども含む）

(エ) 支援会員サポート

実施なし

(オ) 支援会員募集説明

元気応援ポイント説明会に出席し、参加者へ支援会員について説明した。

VI. くらしサポート拠点区分

1. 生活支援事業

(1) 行旅人旅費支給事業

法外援護として、旅費困窮、行旅病人等緊急援護を必要とする者に次のとおり援護した。

- ・旅費困窮者救護金(17件×300円、1件×1,000円、1件×1,100円)
- ・平塚市民病院対応(1件×10,000円)

合計 17,200円

(2)日用品等支給事業

やむを得ない事情で生活が困難な市民に日用品及び食料品等を一時的に支給した。

- ・乳児の養育に必要なものとして、粉ミルク・紙おむつ・おしり拭きを支給。

合計 1件

(3)生活支援事業

さまざまな生活上の困りごとをかかえている方を対象に、関係機関と連携し相談体制を整え、問題の解決を図れるよう情報提供や社会資源の紹介をするとともに、慰問金等の援護事業による支援も実施した。

生活支援相談(月曜日～金曜日) 延べ 129件

(4)災害見舞金支給事業

火災や水害で罹災した世帯に見舞金を支給した。

	件数	県共募(たすけあい福祉資金配分金)	市社協(共同募金一般配分)	合計
全焼(損)	5件	50,000円	50,000円	100,000円
半焼(損)	2件	10,000円	10,000円	20,000円
半壊	0件	0円	0円	0円
水損	0件	0円	0円	0円
死亡	1件	10,000円	10,000円	20,000円
重症	1件	5,000円	5,000円	10,000円
合計	9件	75,000円	75,000円	150,000円

2.貸付事業

(1)生活福祉資金貸付

ア.生活福祉資金貸付

低所得世帯、高齢者、障がい者の世帯からの相談をうけ、自立更生、生活安定を図るためそれぞれに必要な助言・指導を行うと共に、申請の取り次ぎを行った。

(ア)総合支援資金

種 類	件数(件)	決定金額(円)
生活支援費	0	0
住宅入居費	0	0
一時生活再建費	0	0
合 計	0	0

(イ) 福祉資金

種類	当年度	前年度
住居の移転等給排水設備等に必要経費	2 件 379,000 円	0 件 0 円
その他日常生活上一時的に必要な経費	6 件 729,000 円	4 件 266,000 円
技能習得費及び技能習得支度費	0 件 0 円	1 件 744,000 円
緊急小口資金	3 件 264,000 円	2 件 200,000 円
合計	11 件 1,372,000 円	7 件 1,210,000 円

(ウ) 教育支援資金（教育支援費及び就学支度費）

	当年度	前年度
決定	21 件 10,603,000 円	10 件 5,314,000 円

(エ) 不動産担保型生活資金

	当年度	前年度
一般向け	0 件	0 件
要保護世帯向け	0 件	0 件

(オ) 生活福祉資金貸付調査委員会

資金の貸付業務の円滑化を図るため、生活福祉資金貸付調査委員会を設置しているが、審議が必要な案件等がないため実施しなかった。

イ. 臨時特例つなぎ資金貸付

解雇や雇い止め等により、住宅を喪失し、その後の生活維持が困難である離職者等で、公的給付制度等の申請から決定までの生活費を有しない者に対し、生活に必要な費用の貸付けについての相談・申請支援を行う。

貸付件数

0 件（前年度 0 件）

ウ. 緊急小口・総合支援資金特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少があり一時的な資金が必要な方への貸付実施。

種類	当年度	前年度
総合支援資金特例貸付 貸付上限（単身）15万円×3か月 （二人以上）20万円×3か月	269 件	1,053 件
緊急小口資金特例貸付（貸付上限 20 万円）	260 件	1,064 件

(2) 一時貸付金

低所得世帯で一時的に生活等が困窮な世帯に次のとおり貸付けた。

前年度貸付残高	6,365,750 円
当年度貸付金額 延べ 16 件	338,000 円
償還額 延べ 14 件	237,000 円（うち完済 12 件 231,000 円）
償還免除（欠損処分）平成 28 年度以前貸付 199 件	6,179,750 円
当年度末貸付残高	287,000 円
{ 内訳 1 年以上経過貸付金 186,000 円 1 年以内償還予定額 101,000 円	

3. 生活困窮者自立相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援及び地域における自立、就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立を促進することを目的に事業を実施した。

窓口名称を「くらしサポート相談」とし、平塚市役所本館1階福祉総務課内に設置した相談窓口にて、貸付事業や援護事業と連携し相談支援及び就労支援を行った。

なお、令和4年度についても新型コロナウイルスの影響を受けた方への支援策として令和2年より始まった住居確保給付金と緊急小口等特例貸付の延長が繰り返され、それぞれの相談や申請が令和3年度に引き続き多数あった。また、令和4年9月末より特例貸付（総合支援資金）の貸付が終了してもなお失業や収入減が続く世帯への支援策として始まった自立支援給付金の相談及び受付を行った。

ア. くらしサポート相談（自立相談支援事業）の運営

（ア）事業の広報

生活困窮者自立支援制度普及広報用「生活困窮者への支援を行うくらしサポート相談にご相談ください。」のチラシ及びカードを市役所・福祉会館はじめ市内公園トイレ等に配架し周知に努めた。

また、自殺予防啓発街頭キャンペーンの配布物に生活困窮者自立支援制度普及広報用チラシ及びカードを同封した。

（イ）会議への参加 2回

- ・ 8月4日(木) ホームレス自立支援に関する意見交換会
- ・ 1月書面開催 平塚市内のホームレスが起居する施設管理者の情報交換

（ウ）関係機関からの要請による制度や相談窓口に関する説明等の実施 1回

- ・ 5月19日(木) 平塚市役所保健福祉研修
『くらしサポート相談窓口について』
- ・ 2月 6日(月) 包括・ケアマネ合同研修会
(高齢者よろず相談センターおおすみ 担当地区内)
『生活困窮者自立支援制度について』

イ. くらしサポート相談（自立相談支援事業）の相談件数 () 内は前年度件数

(ア) 初回相談受付件数		361件(856件)
(イ) 継続相談件数	延べ	4,069件(4,747件)
(ウ) プラン作成数	初回プラン	123件(133件)
	再プラン	延べ 146件(100件)
(エ) 自立相談支援事業による就労支援	延べ	160件(124件)
うち、就労支援による一般就労開始及び就労収入増加		41件(38件)
(オ) 住居確保給付金の支給対象者（新規支給決定件数）		51件(101件)
(カ) 訪問相談及び同行支援（アウトリーチ）	延べ	185件(81件)
(キ) ケース会議	延べ	11件(28件)

ウ. 支援調整会議

相談者（本人）と相談支援員の協働により作成したプランを基に目標や支援内容を協議し支援方針を共有した。なお、新型コロナウイルスの影響による住居確保金の対象者はプラン作成が一部緩和された。

(ア) 定期開催	24回	延べ370件	対象者247人
(イ) 随時開催	認定就労訓練事業 0回	延べ 0件	対象者 0人
	一時生活自立支援事業 1回	延べ 1件	対象者 1人

家計改善支援事業	42回	延べ	42件	対象者	42人
就労準備支援事業	12回	延べ	36件	対象者	7人

エ. 生活困窮者自立相談支援事業連携機関連絡会

関係機関に平塚市における生活困窮者自立支援事業の取り組み状況を報告し、さらなる連携を促進するために各機関からのアンケートを踏まえて情報交換会を開催した。

開催日 3月9日(木)

場 所 平塚市福祉会館2階 第2会議室

参加数 関係機関 20ヶ所 参加者 24人

参加機関 平塚保健福祉事務所、平塚公共職業安定所、
平塚市高齢者よろず相談センター（9ヶ所）、医療機関（4ヶ所）
認定就労訓練事業所（3ヶ所）、障がい者相談事業所（1ヶ所）

オ. ホームレス巡回相談

生活困窮者自立支援法の趣旨及び理念を踏まえつつ、基本的に新法に基づく生活困窮者自立支援事業として巡回相談を実施した。

・巡回訪問件数 延べ 221件 実人数 28人

・巡回実施回数 定期巡回 23回 夜間巡回 1回

※うち4回は、済生会湘南平塚病院と合同巡回を実施

カ. 食糧支援

何らかの理由で公的給付を受けることが困難な者や、緊急の支援を必要と認める者に対し、フードバンク湘南との連携による支援のほか、令和2年度より契約を交わしているフードバンクかながわからの食品や閉店したセブンイレブンの寄附品（神奈川県社会福祉協議会経由）など提供いただいた食糧を支援に役立てた。

・支援件数 延べ126件

事業区分：公益事業

I. 福祉会館拠点区分

1. 介護者支援事業

(1) 元気応援ポイント事業

ア. ひらつか元気応援ポイント事業

管理機関として元気応援ポイント説明会を実施し、元気応援会員登録や手帳発行、交付金交付等の事業を実施した。

(ア) 説明会 原則毎月1回実施 合計 12回

開催場所：福祉会館、南部福祉会館、西部福祉会館、平塚市保健センター、大野公民館

(イ) 説明会参加者 延べ48人

(ウ) 元気応援会員 新規 42人 3月末活動者数 122人

(エ) ポイント換金 45人 現金 86,800円

元気応援セット 0円

スターライトマネー 5,500円

(オ) 研修会

元気応援ポイント会員の介護予防につながる内容と元気応援活動者の活動紹介を行った。研修終了後、希望者は八幡山の洋館と福祉会館の老人福祉センターの見学をした。

研修内容「椅子ヨガで体すっきり 元気Doアップ！」

開催日	開催場所	参加人数
6月23日(木)	福祉会館	24人

(2) 家族介護リフレッシュ事業

平塚市在住、在勤で自宅または入所先等で家族を介護している方を対象に、あん摩・マッサージ師の有資格者による「腰痛肩こり予防プログラム」で介護疲れを解消していただいた。西部福祉会館の申し込みが多いため、9月からベッド台数を2台から3台に増やし実施した。3月15日(水)のリフレッシュプラザ平塚は、設備不良のため中止した。

開催場所	平塚市福祉会館	南部福祉会館	西部福祉会館	リフレッシュプラザ*	合計
開催回数	54回 (44)	15回 (13)	15回 (12)	14回 (13)	98回 (82)
参加人数	270人 (287)	62人 (59)	79人 (49)	51人 (38)	462人 (433)
講師人数	131人 (122)	30人 (26)	35人 (22)	25人 (23)	221人 (193)

() は前年度の実績

II. 平塚栗原ホーム拠点区分

1. 法人後見事業

(1) 法人後見事業

平成24年10月から成年後見人等として成年後見制度に基づく高齢者や障がい者等の身上監護や財産管理を市社協が実施することを目的として法人後見事業（ひらつかあんしんセンター）を実施した。

ア. 相談援助活動

	当年度	前年度
問い合わせ、相談件数（総数）	603 件	644 件
後見人等の依頼相談（ケース相談）	28 件	19 件
法人後見事業に関するもの（日常支援）	511 件	559 件
関係機関等からの問い合わせ等	64 件	66 件

イ. 受任件数、後見人等候補者申立件数

（ア）受任件数（年度末時点） 33 件

内 訳	後 見	保 佐	補 助	受任件数
認知症高齢者	21 件(21)	3 件(3)	1 件(1)	25 件(25)
知的障がい者	2 件 (2)	0 件(0)	0 件(0)	2 件 (2)
精神障がい者	5 件 (5)	1 件(0)	0 件(0)	6 件 (5)
合 計	28 件(28)	4 件(3)	1 件(1)	33 件(32)

※（ ）は、前年度実績

（イ）後見人等候補者申立て件数 5 件
（市長申立て 4 件、本人申立て 0 件、家族申立て 1 件）

ウ. 訪問活動

（ア）専門員等の訪問調査、支援活動 延べ 521 回

エ. 法人後見事業審査会兼ひらつかあんしんセンターあり方検討委員会

（ア）開催回数 11 回（うち書面開催 1 回含む）

※コロナ禍のため中止 1 回

（イ）審査内容（単位：件）

対象者		認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他・ 不明	合計
項 目						
審査 内容	審査	4 件	0 件	2 件	0 件	6 件
	相談・助言	33 件	3 件	6 件	1 件	43 件
	終了（死去等）	3 件	0 件	2 件	0 件	5 件
	その他	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
審 査 合 計		40 件	3 件	10 件	1 件	54 件

オ. 市民後見人の養成

市民後見人としての受任を目指し、市民後見人養成講座（実践研修）修了者を、平成26年度から後見支援員として雇用した。 後見支援員 21 人

（ア）後見支援員全体会（研修及び情報交換） 6 回

（イ）後見支援員による支援活動 57 回

2. 居宅介護支援事業

(1) 居宅介護支援事業

ア. ケアプラン作成

高齢者等を対象に介護保険サービスなどの相談やケアプラン作成等を実施した。

相談、調査件数

内訳	当年度	前年度
電話相談	5,218 件	4,649 件
来所相談	74 件	59 件
ケアプラン作成訪問	2,150 件	1,883 件
申請代行訪問	210 件	167 件
その他訪問	1,203 件	1,106 件
サービス担当者会議	456 件	419 件
合計	9,311 件	8,283 件

ケアプラン作成件数 年間延べ 要支援 301 件 要介護 2,311 件

内訳	当年度	前年度
要支援	301 件	341 件
要介護 1	733 件	695 件
要介護 2	664 件	719 件
要介護 3	502 件	337 件
要介護 4	278 件	173 件
要介護 5	134 件	86 件

イ. 要介護認定調査

内訳	当年度	前年度
平塚市より委託	131 件	113 件
市外より委託	9 件	10 件

3. 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター事業

在宅の高齢者の心身の特性を踏まえて、可能な限り居宅において自立した日常生活を営めるよう配慮し、自立に向けた目標を達成するために、適切な保健医療サービス及び福祉サービスを総合的かつ効率的に提供することを目的とする。

なお、平成 22 年 6 月から「平塚市高齢者よろず相談センターゆりのき」とし、広く市民に認知していただくこととした。

サービスの提供にあたっては利用者の意思及び人格を尊重し、関係市町村、他の地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業者、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取組みを行う者等との連携に努め、崇善、松原地区を担当地区として以下の事業を展開した。

ア. 総合相談における相談形態別数

	当年度	前年度
来所相談	158 件	150 件
電話相談	1461 件	1562 件

訪問相談	365 件	314 件
その他	9 件	16 件
相談総数（延べ）	1,993 件	2,042 件

※前年度実績は、平塚市により修正済み

イ. 総合相談における相談内容別数

内訳	当年度	前年度
介護保険	1066 件	993 件
在宅高齢者福祉サービス	18 件	38 件
権利擁護関係	49 件	90 件
高齢者虐待関係	73 件	67 件
保健・医療	296 件	310 件
高齢者調査	10 件	1 件
認知症（疑い）	363 件	444 件
経済苦	19 件	18 件
精神疾患（疑い）	23 件	60 件
障がい福祉サービス	1 件	6 件
生活福祉サービス	5 件	10 件
消費者問題	1 件	2 件
複合	10 件	3 件
その他	9 件	0 件

※前年度実績は、平塚市により修正済み

ウ. 介護予防ケアプラン作成内訳

	当年度	前年度
新予防給付 （給付管理実績）	2,656 件 （うち委託 526 件）	2,270 件 （うち委託 480 件）

エ. 要介護認定調査

	当年度	前年度
件数	58 件	55 件

オ. 居宅介護支援専門員への支援

- ・ 困難事例を抱える介護支援専門員への対応等 10 件
- ・ 地域内ケアマネジャーとの交流会 2 件
- ・ 地域内ケアマネジャーとの研修会 1 件
- ・ 事例検討会 1 件（書面開催）
- ・ 居宅介護支援事業所訪問 8 件

カ. 医療機関訪問

- ・ サポート医訪問 16 件
- ・ 上記以外ケースを通じて医療機関を訪問 19 件

キ. 在宅支援拠点薬局訪問

11 件

ク. 会議開催状況

- ・ 地域ケア会議 8 回
※令和3年度、松原地区は地域ケア会議と協議体会議を一体化して開催している
- ・ 個別ケア会議 3 回
※ケースカンファレンスは50回開催
- ・ サービス担当者会議（委託分含む） 228 回

ケ. 会議、事業出席状況

- ・地区民生委員児童委員協議会定例会 4回
コロナ禍のため必要時に参加に限る
- ・地区社協定例理事会 0回
コロナ禍のため出席なし
- ・町内福祉村定例理事会（協議体含む） 0回
コロナ禍のため出席なし
- ・地域包括支援センター連絡会 38回（書面、オンラインを含む）
（管理者連絡会、地域支援担当者連絡会、主任ケアマネ連絡会、介護予防事業連絡会、
認知症地域支援推進員等）
- ・地域のインフォーマルサービス関係（地域のサロン等含む） 25回
- ・事業所運営推進会議 4回（うち書面開催1回）

コ. ゆりのき予防サロン

開催数 21回 参加者延べ 335人
※令和2年4月よりゆりのきサロンとゆりのき介護予防教室は一体化

サ. 認知症サポーター養成講座

開催数 6回 参加者延べ 67人

崇善公民館、松原公民館と共催で子ども向け講座など幅広い年齢層を対象に認知症サポーター養成講座を実施した。

シ. 認知症サポーター上級研修

開催 2回 22人

ス. ゆりのきオレンジカフェ（認知症カフェ）

開催数 11回 参加者延べ 49人

セ. ゆりのき通信発行

発行回数 4回（崇善・松原地区自治会加入世帯回覧）

ソ. ゆりのきエリア内、民生委員児童委員とケアマネジャーとの交流会

開催数 2回 参加者延べ 43人

タ. 実習生の受け入れ、演習・研修対応

- ・国際医療福祉大学（2人）、平塚看護大学校（11人）、平塚市実習生（3人）

チ. 職員のスキルアップ研修 13件

- ・NP0らしき「ひとり暮らしの終活に向けての支援を考える」
- ・高齢者向け住まいにおける適切なケアマネジメントに向けて
- ・包括的な支援体制及び重層的支援体制構築課題 他

ツ. 松原地区

- ・3か月ごとに開催される「松原地区小地域ケア会議」にて、活動内容を検討。令和4年度は、引き続き「松原ながら見守り運動」を実施。地域に掲示するポスター案を作成し、地域住民に直接投票してもらう等、地域住民自らが、運動に対して参加するよう取り組んだ。
- ・松原地区社会福祉協議会理事研修会や社会を明るくする運動では、孤立のない地域を作っていくには、どのような取り組みが必要か、地域住民と一緒に考えていく機会を作った。

テ. 崇善地区

3か月ごとに開催される「崇善地区小地域ケア会議」にて、活動内容を検討。マンションの自治会加入問題と閉じこもり防止策について検討。新旧マンションが混在する崇善地区では、マンションの自治会加入についての課題が出ている。その問題と合わせてマンション住人の安否確認が出来ないケースや孤立死のケースが増加しているこ

とから、閉じこもり防止策について検討を重ねている。また、若い世代をどのように地域活動に参加してもらうかについて話し合いをしている。

ト．終活についての普及啓発

いざという時のために、今から準備しておいたほうがいいことについて、考えてもらう機会を作った。平塚市のエンディングノート「わたしのノート」に合わせて、医療、介護、成年後見制度について、在宅医療・介護連携支援センター

、成年後見利用支援センター、高齢者よろず相談センターゆりのきが連携して講話を行った。

ナ．相談支援体制の強化

複雑化する困難ケースに対応するため、市社協地区担当、成年後見利用支援センター、くらしサポート、あんしんセンター、高齢者よろず相談センターゆりのきで「相談支援連絡会」を作り、月1回のペースで困難ケースの支援方法について検討を実施し、連携体制を構築している。

4. 成年後見制度利用支援事業

(1) 成年後見利用支援センター事業

判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として事業を実施した。

ア．平塚市成年後見利用支援センターの運営

(ア) 開所日数 252日（土曜開所日 12日を含む）（前年度 254日）

(イ) 普及宣伝

- ・広報ひらつか、タウンニュースにて広報した。
- ・成年後見制度普及広報用パンフレット「成年後見制度を知っていますか？」やリーフレットを作成、配布した。

(ウ) 会議等

- ・平塚市成年後見支援ネットワーク連絡会（71 団体・機関等）
9月2日(金)、12月23日(金)
※コロナ禍のため書面開催
- ・受任調整・企画運営会議（8月度からは企画運営会議として開催）
4月18日(月)、6月27日(月)、8月16日(火)、10月18日(火)、12月20日(火)、
2月21日(火)
※4月18日(月)、6月27日(月)、8月16日(火)、10月18日(火)、12月20日(火)はオンライン開催
- ・ケース検討調整会議（10 月度は準備会として会議を開催）
10月26日(水)、1月25日(水)、2月22日(水)、3月22日(水)

イ．成年後見制度の相談

(ア) 相談件数

	当年度	前年度
初回相談件数	302 件 (内訳:電話 237 件、来所 65 件)	299 件
継続相談件数	471 件 (内訳:電話 292 件、来所 179 件)	442 件

(イ) 専門相談 ・ 弁護士による専門相談 13回

ウ. 親族後見人等の後見活動の支援

申立を考えている親族の方や、すでに親族後見人になっている方に対して、セミナー、講習会・交流会を開催した。

- ・ 親族後見予習セミナー 9月9日(金) 17人、10月7日(金) 11人
- ・ 親族後見人講習会・交流会 8月5日(金) 3人、2月27日(月) 6人

エ. 市民後見人の養成及び活用

(ア) 平塚市権利擁護人材育成講座・市民後見人養成講座(基礎研修・第八期)の開催
(主催:平塚市社協)

- ・ 基礎研修 10月13日(木)、10月28日(金)、11月11日(金)、11月25日(金)
の全4日間。平塚栗原ホームにて開催した。
- ・ 受講者 10人 修了者 9人

(イ) 後見サポーター(後見支援員・第一期~第七期)活動支援等

- ・ 後見サポーター全体会(研修及び情報交換)の開催
5月12日(木)、7月7日(木)、9月1日(木)、11月10日(木)、1月5日(木)、3月2日
(木) 平塚栗原ホーム
- ・ 平塚栗原ホームにて市民後見人を対象とした平塚市市民後見人フォローアップ研
修を開催した。
11月18日(金)平塚市保健センター
2月8日(水)平塚栗原ホーム(第三者後見人研修交流会に出席)

オ. 法人後見受任団体の支援

法人後見受任団体との意見・情報交換として専門職団体等と連携し、情報共有及び後見活動の資質向上を目的とした第三者後見人研修交流会(2/8・水)を開催した。

カ. 成年後見業務に係る関係機関との連携及び情報提供

(ア) 家庭裁判所、行政機関等と連携し体制整備を行うとともに、成年後見制度の利用推進を図った。

- ・ 湘南西部成年後見制度利用支援連絡会
9月5日(月)オンライン(3市3社協)、2月28日(火)秦野市保健福祉センター(3社協)
- ・ 成年後見制度利用促進連絡協議会(神奈川県・神奈川県社協主催)
9月13日(火) オンライン開催 92人
- ・ 成年後見制度の利用促進に関する連絡・調整会議(神奈川県・神奈川県社協主催)
10月28日(金) オンライン開催 46人

(イ) 市民を対象とした講演会の開催及び要請により企業・団体等への出張講座を実施した。

4月22日	金	成年後見制度講座	7人	
6月2日	木	後見サポーター、市民後見人自主勉強会	8人	
6月4日	土	平塚市港地区町内福祉村出張講座	18人	
6月11日	土	平塚市手をつなぐ育成会出張講座	18人	
6月15日	水	成年後見制度講座	10人	
6月24日	金	市保健福祉研修	21人	
6月29日	水	知っておきたい「任意後見、相続・遺言」 の基礎	42人	
7月13日	水	成年後見申立手続説明会	5人	
7月19日	火	大学連携講座	151人	オンライン

7月30日	土	嬉々!!CREATIVE 出張講座	36人	
8月3日	水	成年後見制度講座	13人	
8月4日	木	後見サポーター、市民後見人自主勉強会	8人	
8月5日	金	親族後見人研修講習会・交流会	3人	
9月9日	金	親族後見予習セミナー	17人	
9月15日	木	平塚市高齢者よろず相談センターまつがお出張講座	24人	
9月21日	水	支援者のための申立手続説明会	14人	
10月7日	金	後見サポーター、市民後見人自主勉強会	5人	
10月7日	金	親族後見予習セミナー	11人	
10月12日	水	成年後見制度講座	11人	
10月13日	木	市民後見人養成講座（基礎研修）公開講座	3人	
10月28日	金	市民後見人養成講座（基礎研修）公開講座	5人	
11月9日	水	成年後見申立手続説明会	5人	
11月11日	金	市民後見人養成講座（基礎研修）公開講座	4人	
11月18日	金	市長申立、任意後見説明会	19人	
11月25日	金	市民後見人養成講座（基礎研修）公開講座	5人	
12月1日	木	後見サポーター、市民後見人自主勉強会	7人	
12月3日	土	松原地区社会福祉協議会出張講座	21人	
12月16日	金	成年後見制度講座	11人	
1月27日	金	平塚市高齢者よろず相談センターゆりのき出張講座	24人	
2月2日	木	後見サポーター、市民後見人自主勉強会	6人	
2月8日	水	第三者後見人研修交流会	20人	
2月15日	水	成年後見制度講座	9人	
2月27日	月	親族後見人研修講習会・交流会	6人	
2月6日～ 2月28日		権利擁護講演会 本人の想いをくみとる支援とは ～事例を通して意思決定支援を考えよう～	151回	動画配信 高齢福祉課委託事業
3月8日	水	成年後見申立手続説明会	8人	
3月9日	木	権利擁護講演会 「自分の想いを伝えるために今できること」～遺言を中心に～	37人	高齢福祉課委託事業
3月15日	水	平塚市高齢者よろず相談センターあさひきた出張講座	32人	

(ウ) 専門職団体等と連携し、情報共有及び後見活動の資質向上を目的とした第三者後見人研修交流会を開催した。 2月8日(水) 平塚栗原ホーム

5. 高齢者権利擁護応急的事務管理事業

(1) 応急的事務管理事業

判断能力が低下し、財産を管理することが困難となった高齢者に対し、生命、健康及び財産の保護を図るため、成年後見人等が選任され法定代理人が財産の管理をするまでの間、事務管理として実施する費用の立替えを行う。

ア. 応急的事務管理について、その実施の可否及び方針について意見を聴くための委員を定め、会議を開いた。

- ・ 応急事務管理会議全体会議 3月9日(木) (オンライン開催)
委員 弁護士4人、社会福祉士3人
- ・ 応急事務管理会議個別ケース会議 4月12日(火)平塚栗原ホーム
委員 弁護士1人、社会福祉士1人

イ. 平成28年度から成年後見制度における応急的立替え払いの事業を開始した。

前年度までの貸付金	0円
当年度貸付金	0円
当年度中償還額	0円
当年度末現在立替残高	0円

6. 在宅医療・介護連携推進事業

(1) 在宅医療介護連携支援センター事業

「地域包括ケアシステム」の一環として、高齢者等が医療と介護が必要となる状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を営むことができるよう、「医療」と「介護」の連携を促進していくための窓口となることを目的として事業を実施した。

ア. 平塚市在宅医療・介護連携支援センターの運営

(ア) 開所日数 242日 (前年度242日)

(イ) 定例会議

平塚市医師会、平塚市地域包括ケア推進課との3者で毎月1回定例会議を開催し、企画の立案、情報の共有、意見交換等を行った。

12回 (うちオンライン開催11回)

(ウ) 平塚市在宅医療介護連携推進協議会で相談・研修開催等の報告を行った。

8月4日、11月24日、3月16日 全木曜日 オンライン出席

(エ) 各種会議への出席

システム会議サービス向上検討部会出席

4月18日、6月20日、8月22日 (書面開催)、10月17日、12月19日、2月20日 全月曜日 (6月・10月・12月・2月はオンライン開催)

終末期に向けた活動支援事業検討会出席

5月18日 (水)、10月21日 (金)、2月15日 (水) オンライン出席

イ. 平塚市在宅医療・介護連携支援センターの業務

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

・ ひらつか介護サービス (医療対応) 一覧を作成

配布先: 医療機関 (13病院)、平塚市医師会、平塚歯科医師会、平塚中郡薬剤師会、平塚市高齢者よろず相談センター (13か所) 等

・ 介護タクシー福祉有償運送情報一覧を作成

配布先: 医療機関 (13病院)、公民館、平塚市高齢者よろず相談センター (13か所) 等

・ 平塚市在宅医療・介護連携支援センターホームページの運用

<https://hmc-renkei.jp/> アクセス数 3,679回 (前年度2,395回)

・ SNS (Facebook) 運用

ウ. 在宅医療・介護関係者に関する相談支援件数

相談者分類

単位：件、（ ）内は前年度件数

分類	病院	診療所	地域包括	ケアマネ	薬局	訪問看護	市民	行政	介護事業所	その他	合計
	6 (6)	2 (0)	19 (34)	17 (23)	0 (1)	1 (1)	17 (11)	1 (2)	1 (1)	10 (8)	74 (87)

相談項目分類（延べ数）

単位：件、（ ）内は前年度件

相談者 相談項目	病院	診療所	地域包括	ケアマネ	薬局	訪問看護	市民	行政	介護事業所	その他	合計
入退院連携	1 (4)	0 (0)	0 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (8)
かかりつけ医・ 往診医の紹介	1 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	10 (6)
医療資源（専門医、 歯科医、薬局）	0 (1)	0 (0)	8 (10)	2 (6)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (2)	15 (20)
社会資源	2 (0)	1 (0)	6 (7)	5 (2)	0 (1)	0 (0)	13 (12)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	30 (23)
医療介護に関する 用語	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
訪問看護（訪問内 容、空き状況等）	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)
ケアマネジャー	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
介護サービス	1 (0)	1 (0)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (4)
医療・介護関係者 の研修	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
地域住民への啓発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
困難事例の支援	0 (1)	0 (0)	0 (3)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	4 (6)
その他	1 (0)	0 (0)	6 (8)	3 (11)	0 (0)	0 (1)	3 (0)	0 (1)	1 (0)	2 (3)	16 (24)
相談項目別集計	6 (7)	2 (0)	22 (36)	19 (25)	0 (1)	1 (1)	18 (13)	1 (2)	1 (1)	11 (8)	81 (94)

エ. 医療・介護関係者の研修

研修人	参加人数
人材育成セミナー「薬剤師の視点から見た終末期の多職種連携の重要性」 （6月30日（木）平塚市保健センター）	35人
普通救命講習（8月19日（金）平塚栗原ホーム）	10人
多職種連携勉強会 終末期がん患者を支えるシリーズⅠ「医療・家族・介護みんなで看取る」（8月25日（木）オンライン）	27人
薬剤師とケアマネジャーの情報交換会（9月21日（水）平塚市保健センター）	29人

「病院で働くみなさんにもっと施設を知ってもらいたい」研修会 (1月27日(金)平塚市民病院大会議室及びオンライン)	40人
急性期病院と高齢者よろず相談センターの情報交換会(2月2日(木)オンライン)	24人

オ. 医療・介護関係者の研修(動画配信)

タイトル	視聴回数
動画で見よう!!介護サービスのあれこれ in ひらつか 第4回目訪問看護編 「知っておきたい訪問看護」(6月13日(月)～)	295回
動画で見よう!!介護サービスのあれこれ in ひらつか 第5回目居宅介護支援編 「知っておきたい居宅介護支援～ケアマネジャーのお仕事内容紹介」	1,459回

カ. 地域住民への普及啓発

タイトル	参加人数
後見サポーター全体会(11月10日(木)平塚栗原ホーム)	22人
在宅医療・介護普及啓発講演会「平塚であなたらしく暮らすために～今・そしてこれから～」(11月19日(土)ひらしん平塚文化芸術ホール)	385人
松原地区理事研修会「いざという時のために今やらないと・・・」 (12月3日(土)松原公民館)	21人
松原第三長生会「この世を生き切る醍醐味―樹木希林さんのインタビューを通じて―前編」動画視聴会(2月10日(金)松原公民館)	54人
松原第四長生会「この世を生き切る醍醐味―樹木希林さんのインタビューを通じて―後編」動画視聴会(3月10日(金)松原公民館)	57人
ゆりのき終活セミナー いざという時のために～今から私ができること～ (11月19日(土)平塚市福祉会館)	36人

キ. 地域住民への普及啓発(動画配信)

タイトル	視聴回数
動画で見よう!!介護サービスのあれこれ in ひらつか 第4回目訪問看護編 「知っておきたい訪問看護」(6月13日(月)～)	295回
動画で見よう!!介護サービスのあれこれ in ひらつか 第5回目居宅介護支援編 「知っておきたい居宅介護支援～ケアマネジャーのお仕事内容紹介」	1,459回

ク. その他 職員研修

- 6月1日(水)骨粗鬆症治療 update in 平塚(平塚市医師会主催)
- 6月9日(木)オンライン研修 ACPをabcから始めよう～事例から解説します～(在宅トレーニングセンター主催)
- 8月31日(水)がん患者の在宅での看取り(在宅トレーニングセンター主催)
- 9月7日(水)看取りに向き合うための心がまえ(在宅トレーニングセンター主催)
- 9月12日(月)緩和ケアの基礎知識(在宅トレーニングセンター主催)
- 11月25日(金)包括機能強化研修(平塚市地域包括ケア推進課主催)
- 12月2日(金)第1回「人生の最終段階における在宅医療・介護多職種連携協働推進研修会」

7. システム会議運営事業

(1) システム会議運営事業

市社協が事務局となり、各種サービスを提供する事業者や関係機関の連絡調整体制及び利

用者に対する情報提供体制を確立し、介護サービス等の信頼性の確保と質の向上、充実及び介護保険制度の円滑な運営を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として運営した。

ア. ひらつか地域介護システム会議

- (ア) 総会 1回 (書面)
- (イ) 幹事会 2回 (うち1回書面・1回オンライン)
- (ウ) 監事会 1回
- (エ) 介護情報推進部会 0回
- (オ) サービス向上検討部会 6回 (うち1回書面・4回オンライン)

イ. 事業別連絡会 (35回)

- (ア) 居宅介護支援連絡会 5回 (うち4回オンライン)
- (イ) 訪問介護連絡会 1回 (意見交換会)
- (ウ) 訪問入浴連絡会 0回
- (エ) 訪問看護連絡会 7回 (うち5回オンライン・1回ハイブリッド)
- (オ) 通所サービス連絡会 4回 (うち4回オンライン)
- (カ) 福祉用具・住宅改修連絡会 6回 (うち1回書面)
- (キ) 介護保険施設連絡会 0回
- (ク) グループホーム連絡会 6回 (うち1回書面・4回オンライン)
- (ケ) 小規模多機能連絡会 6回 (うち1回書面・4回オンライン)

※グループホーム連絡会と小規模多機能連絡会については合同開催として実施

ウ. ひらつか地域介護システム会議主催による研修等

- (ア) 全体イベント 1回
 - ・『介護サービスのあれこれ2022』7連絡会参加
- (イ) 居宅介護支援連絡会 5回
 - ・神奈川県介護支援専門員研究大会 大会運営
 - ・「動画で見よう!!介護サービスのあれこれ in ひらつか」動画撮影・動画配信
 - ・ケアマネサロン 4回
- (ウ) 訪問介護連絡会 1回
 - ・連絡会に関する意見交換会を実施
 - ・訪問介護事業、連絡会に関するアンケート実施
- (エ) 訪問入浴連絡会 1回
 - ・休止中であるが、『介護サービスのあれこれ2022』参加・出展
- (オ) 訪問看護連絡会 0回
- (カ) 通所サービス連絡会 0回
- (キ) 福祉用具・住宅改修連絡会 1回
 - ・平塚市防災フェア参加・出展
- (ク) 介護保険施設連絡会 (休止)
- (ケ) グループホーム連絡会 0回
- (コ) 小規模多機能連絡会 0回
- (サ) ホームページひらつか介護情報ネットワーク (愛称ひらのすけ) の運営
<http://www.hiranosuke.jp>

事業区分：収益事業

I. 福祉会館指定管理拠点区分

1. 福祉会館運営事業

(1) 福祉会館運営事業

ア. 管理運営事業

(ア) 平塚市福祉会館の管理運営について指定管理者制度における管理運営を行った。高齢者及び心身障がい者等の福祉の増進と生活向上のため各種事業を行った。

福祉会館のホームページやツイッターにより情報の提供を行うほか「福祉会館だより」を年3回発行し、福祉会館で配布し利用者へ情報提供した。

・平成25年度より福寿手帳の廃止に伴い、市内の福祉会館共通の福寿カードを発行
福寿カード発行数（新規104件、更新146件、再発行15件）

a. 福祉会館会議室等の利用状況

高齢者、障がい者、福祉団体を対象に趣味・教養の向上のためのサークル活動や会議の場として会議室等を提供した。また、市民の福祉向上を図るため生活支援等、各種相談の場を提供した。

会議室等の利用状況（延べ人数） 開館日数 316日（前年度 316日）

	当年度	前年度		当年度	前年度
第一会議室	5,061人	4,152人	集会室	1,512人	955人
第二会議室	7,708人	6,651人	身障判定室	0人	0人
第三会議室	4,528人	3,359人	料理講習室	538人	396人
第四会議室	3,158人	2,571人	B相談室	795人	1,036人
奉仕活動室	1,342人	970人	C相談室	308人	456人
身障いこい室	655人	672人	D相談室	64人	322人
合 計				25,669人	21,540人

・コロナ禍のため会議室等は定員の半数の人数制限をした。

b. 障がい者福祉の向上及びボランティア活動の支援

各種奉仕活動の拠点として活動の場を提供した。

福祉会館奉仕室等の利用状況（延べ人数）

	当年度	前年度		当年度	前年度
点訳奉仕室	1,511人	1,361人	録音奉仕室	470人	377人
図書室	273人	263人	ボランティア活動室	1,355人	1,717人
合 計				3,609人	3,718人

c. おもちゃば〜く

子育て支援とボランティアの育成、交流の場として実施した。

開催数 35回（第1・第2・第3金曜日午前）（前年度 19回）
 場 所 福祉会館 集会室
 利用者 394人（169組）（前年度 223人 106組）

（イ）高齢者・障がい者の保健・教養・レクリエーション事業

高齢者及び障がい者の生きがいを高め、健康で明るい生活を目指して高齢者健康・教養講座や福祉会館まつりを実施した。

a. 講座開催状況

福祉会館高齢者健康・教養講座

講座	定員	回数	参加者数	延べ受講人数
男の料理教室	6人	2回	11人	11人
スマホの使い方相談会	3人	3回	7人	7人
食育講座「チョコレートの世界へようこそ」	25人	1回	21人	21人
初めてのスマホ体験講座	20人	2回	33人	33人
「美味しいアイス珈琲の淹れ方講座」	9人	2回	19人	19人
「レッツコグニサイズ」	30人	1回	12人	12人
「初心者のための金融商品を選ぶポイント」	30人	1回	14人	14人
「平塚市制 90 年をふりかえる」	20人	1回	9人	9人
「楽しいシニアライフを過ごすために」	20人	1回	18人	18人
サックス&ピアノジョイントコンサート	30人	1回	40人	40人
「口腔ケアとお口の体操」	30人	1回	16人	16人
「バルーンアート（花）講座」	20人	1回	12人	12人
「ゴスペル クワイア ワン キューブ クリスマス ライブ」	30人	1回	21人	21人
「ふれあいカラオケ大会」	20人	2回	53人	53人
「美味しい珈琲の淹れ方講座」	12人	3回	35人	35人
終活講座「いざという時のために 今から私ができること」	25人	1回	24人	24人
終活講座「終の棲家の探し方」	30人	1回	31人	31人
「鉛筆・色鉛筆絵画講座」	15人	5回	71人	71人
「高齢者のための救急講座」	20人	1回	10人	10人
『マンドリンアンサンブル「やよい」2023 春のコンサート』	30人	1回	44人	44人
「優しいヨガ講座」※	9人	4回	36人	36人
「手話ダンスを踊ろう」※	11人	4回	11人	44人
「自分でできる腰痛対策」※	9人	2回	17人	17人
合 計	454人	42回	565人	598人

※は、障がい者も参加対象な講座

（ウ）福祉会館まつり

10月21日（金）・22日（土）入館者 1,330人（前年度人数制限あり 622人）

・催物団体：19団体（3階大広間）

落語（平塚市視覚障害者協会）（ザ・寿限無）、日本舞踊（八栄の会）、音楽（平塚市肢体障害者福祉協会）、演奏（ベルフレンズ）、コーラス、リズム体操（老人クラブ）、フラダンス（フラ ハーラウ ホヌ）、マジック（湘南ひらつかマジシャンズ）、舞踊（貴の寿会）、コーラス（さくら会）、詩吟（神風流西湘会）、ダンス

(リズム運動サークル)、カラオケ(カラオケ西湘会)、カラオケ(こまどりの会)
音楽演奏(洋ちゃんといんがらし)、音楽演奏(オカリナ・リボンの会)、お遊戯
(あいあいリトミック)、音楽演奏(楽しいハーモニカなでしこの会)、音楽演奏
(アンサンブルやよい)、音楽(平塚市視覚障害者協会)演奏(ヒマナスターズ)、
カラオケ(老人クラブ)

・展示団体: 9団体(1階、2階ボランティア活動室)

手芸(みどり会)、水彩画(いずみ会)、書道(千草会)、書道(硯友会)、絵手紙
(喜楽会)、写真(フォト四季)、各種作品(平塚市障がい者団体連合会)、各種手
芸品(老人クラブ)活動案内(平塚ボランティア連絡会)

・販売団体: 6団体(1階ロビー)

平塚市障がい者団体連合会(平塚市肢体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会・湘南あ
ゆみ会)

地域作業所連絡会(地域活動支援センターひのき・山晃央園・ベルカンパニー)

(エ)利用者による園芸ボランティア 合計10日 参加者25名

日程	参加者数
4月11日(月)	2人
5月10日(火)	3人
6月10日(金)	5人
7月11日(月)	2人
8月10日(水)	2人
9月9日(金)	3人
10月7日(金)	雨中止
11月10日(木)	2人
12月9日(金)	3人
1月10日(火)	2人
2月10日(金)	雨中止
3月10日(金)	1人

(オ)障がい者とふれあい農園活動

収 穫	6月25日(土)	7月23日(土)
参加者	利用者団体	利用者団体
人 数	7人	2人
栽培物	じゃがいも	オクラ

(カ) 視察、実習等の受け入れ

・神奈川県立平塚看護大学校 6月 8日(水) 9日(木)19人 教員1人
・社会福祉士実習受入れ
8月9日(火)東海大学1人、神奈川社会福祉専門学校1人、田園調布学園大学1人
8月19日(金) 東海大学1人、相模女子大1人、大妻女子大学1人
9月6日(火)、15日(木)田園調布学園大学1人、神奈川社会福祉専門学校1人
11月8日(火)神奈川社会福祉専門学校2人

イ. 利用者の声

利用者の方々の意見や要望等を伺うために、各館にアンケート用紙を設置し回収箱に投
函していただいた。なお寄せられた意見や要望については、その内容や時期について検討

した。

(ア) 利用者、利用団体へアンケート実施

- ・ 会議室、老人福祉センター利用者アンケート

11月13日(日)から11月30日(水)

対象者：福祉会館会議室及び老人福祉センター利用者 605人回答

(調査結果)

① 来館の目的

- ・ 会議室利用者 サークル活動 62%
- ・ 老人福祉センター 入浴 26% マッサージ、スカイウェル 25%

② どのような教室や講座に参加したいか

- ・ 会議室利用者 趣味 36% 健康 35%
- ・ 老人福祉センター 健康 53% 趣味 24%

③ 今後も利用したいか、他の人への利用を勧めたいか

- ・ 会議室利用者 思う 58% とても思う 40%
- ・ 老人福祉センター 思う 54% とても思う 44%

④ その他ご意見

- ・ Wi-Fi の設備が欲しい。
- ・ 利用できるコピー機があったらよい。

(イ) 福祉会館に関する意見 1件

3階老人福祉センターの受付での職員の対応がよくない。

(ウ) 利用者懇談会

① 会議室等利用団体との懇親会

3月7日(火)利用団体の老人クラブ、平塚市障がい者団体連合会、平塚ボランティア連絡会との懇談会を実施

福祉会館利用にあたり、課題や問題点の情報交換をする

- ・ Wi-Fi 設備の設置について
- ・ コロナ禍での利用について
- ・ 会議室で食事が出来るようにして利用できないか

② 老人福祉センター利用者からのご意見聴取

3月11日(土)3階利用者の方に懇談会を実施

- ・ 大広間での事業で囲碁ボールは楽しみにしている
- ・ マッサージ機やスカイウェルは引き続き利用している
- ・ お湯の温度が低いので上げてもらいたい

Ⅱ. 平塚栗原ホーム指定管理拠点区分

1. 平塚栗原ホーム運営事業

(1) 平塚栗原ホーム運営事業

平塚市から指定管理者の指定を受け、管理運営等の事業を実施した。

ア. 会議室貸出実績

	回数	利用人数
大会議室	220 回 (179 回)	2,998 人 (2,489 人)
小会議室	71 回 (47 回)	558 人 (436 人)
その他の会議室	103 回 (55 回)	648 人 (408 人)

主な利用団体 転倒骨折予防／フレイル予防サークル、しらゆり保育園等

◎別表1 社会福祉基金事業一覧表

令和4年度平塚市社会福祉基金事業決算

(単位 円)

サービス区分	基金事業名	予算額	決算額	差異	備考
団体支援事業	地区社協活動の推進を図るための事業に対する助成	3,517,000	3,506,891	10,109	23地区社協活動費 地区ふれあい福祉相談事業 高齢者等サロン事業
	地域活動支援センター利用者活動促進事業	300,000	202,500	97,500	1か所助成
ボランティア活動支援事業	①一般市民向けボランティア養成講座等	350,000	294,916	55,084	各種ボランティア養成講座、出張の講座経費等
	②専門ボランティア養成講座等	383,000	383,000	0	点訳講習会 手話講習会① 手話講習会② 要約筆記講習会 盲識講習会 傾聴講習会 視覚障がい者スマートフォン講座 中途失明者対象点字講座
	音訳ライブラリー整備事業	50,000	50,000	0	音訳ライブラリー運営経費
	ボランティアグループ活動費助成	2,093,000	1,868,900	224,100	グループ助成 40団体 1,868,900円
	点訳・音訳奉仕団事業助成	95,000	95,000	0	点訳赤十字奉仕団 85,000円 音訳赤十字奉仕団 10,000円
	ボランティア連絡会助成	150,000	150,000	0	広報紙等の発行費用、研修会経費等
	災害ボランティアネットワークセンターの整備費用	350,000	350,000	0	センター運営資材等
緊急援護事業	緊急援護事業	40,000	17,200	22,800	旅費困窮者に300円支給 緊急を要する場合の飲食物品、被服等の支給
在宅援護事業	低所得世帯の慰問活動(夏期)	3,850,000	3,645,000	205,000	1人世帯@5,000円×41世帯 2人以上世帯@10,000円×344世帯
	入学卒業祝金等支給事業	3,750,000	3,080,000	670,000	①低所得世帯児童の小中学校入学時祝金支給 小中@20,000円×59人=1,180,000円 ②低所得世帯児童の小中学校入学時被服購入費助成 小男女@10,000円×22件=220,000円 中男女@20,000円×37件=740,000円 ③低所得世帯生徒の中学校卒業祝金支給 中学3年@20,000円×47件=940,000円
	寝たきり高齢者等慰問事業	156,000	141,520	14,480	1回目113人、2回目116人 計 229人
障がい者福祉事業	点字図書購入費助成	30,000	13,218	16,782	1件(上限1人30,000円)
	移送サービス事業	442,000	396,983	45,017	特別支援学校等送迎 利用者=3人、延べ利用回数=439回 運転ボランティア=6人登録
子ども家庭福祉事業	子育て支援ネットワーク事業	361,000	265,007	95,993	委員旅費、講師謝礼、通信運搬費、チラシ作成
	子ども貧困対策支援事業	450,000	351,313	98,687	市域活動団体 100,000円×2件=200,000円 地域活動団体 30,000円×5件=150,000円 振込手数料含
貸付事業	高齢者権利擁護応急的事務管理事業	0	0	0	平成28年度に原資として300万円拠出済み
合計		16,367,000	14,811,448	1,555,552	

令和4年度 平塚市社会福祉基金 拠出項目管理

(単位 円)

項目	拠出額	増加	減少	残高	説明
高齢者権利擁護 応急の事務管理事業	3,000,000	0	0	3,000,000	平成28年度に原資拠出
事業資金貸付	9,153,675	0	1,493,140	7,660,535	平成29年度に平塚栗原ホーム事業資金を貸付(10年返済)

別表2 年末たすけあい配分事業一覧表

令和4年度配分結果

(単位 円)

区分	配 分 内 容	件 数	金 額
在宅 援 護 事 業	生計困難世帯に年末慰問金 (1人世帯 5,000円 2人以上世帯 10,000円)を配分	411世帯	3,895,000
	一般遺児激励金 18歳以下の遺児に激励金(1人15,000円)を配分	児童数74人	1,110,000
	修学旅行支度費 (小学生5,000円 中学生10,000円)を配分	62人 (小学生22人/ 中学生40人)	510,000
	小 計		5,515,000
地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー 等 補 助 事 業	地域活動支援センターの事業運営に対して配分 1か所あたり 上限100,000円	14か所	833,119
	障がい者グループホーム・ケアホームの事業運営等に配分 1か所あたり 上限60,000円	6か所	203,119
	障がい児学童保育事業の運営等に配分 1か所あたり 上限35,000円	9か所	299,858
	小 計		1,336,096
団 体 支 援 事 業	地区社協活動事業 地区社協に地区ふれあい広場事業費(三世代交流事業) として配分 1地区あたり上限72,000円23地区計1,656,000円 サロン開催事業費(5地区) 51,120円	23地区社協 5地区社協	1,707,120
	要援護者実態把握活動事業 平塚市民生委員児童委員協議会へ事業費として配分	1か所	2,768,000
	在住外国人共生事業 横内プロジェクトへ事業費として配分	1か所	150,000
	福祉団体等へ補助金として配分 平塚市自治会連絡協議会 700,000円 社会を明るくする運動実行委員会 180,000円 平塚市母子福祉なでこ会 36,000円 平塚市老人クラブ連合会 90,000円 あおぞら里親会 36,000円 福祉当事者団体 36,000円×12団体	17団体	1,474,000
	小 計		6,099,120
	調査研究 企画広報		320,000
	事 務 費		1,187,018
合 計			14,457,234